

質問回答書

令和 2 年 3 月 25 日

各 位

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 理事長

次の入札案件の質問等について、下記のとおり回答します。

工事名称	地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所等一元化施設整備工事
------	-------------------------------

資料名称	項目・ページ	質問内容	回 答
構造 免震下部	GEN-021	鉄筋工事 鉄筋の継手において、梁の主筋が D19 以上がス圧接とありますが、地中大梁の主筋径が D35 とある為、機械式継手と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	機械式継手の使用は可です。

構造 免震下部	-	鉄筋工事において、地中大梁の主筋径が D35 とある為、柱内外端部には、機械式定着板を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	機械式定着板の使用は可です。ただし、各メーカーで計算方法が異なるため、工法選定時には本建物における可否を検討する必要があります。
構造 免震下部	B-008	免震層床梁伏図の共通事項において、地中梁天端は 1FL-3450 とするとありますが、各軸組図及び各矩計図では、 1FL-3400 となり相違します。地中梁天端は 1FL-3400 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造 免震下部	B-008	免震層床梁伏図において、 X0 通り側の擁壁上部付きのｽﾌﾟ符号 CS11A とありますが、床版ｽﾌﾟに無く不明です。誤記と考え、 CS11 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造 免震上部	GEN-021	鉄筋の継手において特記仕様書では D19 以上の柱・梁主筋はガス圧接とありますが柱・梁は PC の為、機械式継手と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造 免震上部	GEN-021	免震上部の鉄筋の接手において、 1FL の大梁主筋 D32 は機械式継手、 1FL の小梁主筋はガス圧接と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	1FL の大梁主筋に機械式継手の使用は可です。 1FL の小梁主筋はガス圧接とします。

構造 免震上部	B-041	定着板使用範囲において、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・2FL 以上大梁 柱内外端部の上端筋 ・1FL 大梁 柱内外端部の上下主筋	2FL 以上についてはよろしい。 1FL についても定着板の使用は可ですが、各メーカーで計算方法が異なるため、工法選定時には本建物における可否を検討する必要があります。
構造 免震上部	B-046	d 断面図においてスラブ 段差補強がありますが、配筋が不明です。下記と考える宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・横補強筋:2・D13 ・スターラップ :スラブ 筋と同径同ピッチ	よろしい。
構造 免震上部	B-026	鉄骨部材リストにおいて備考にベースプレート、アンカーボルトの記載がありますが下記符号のアンカーボルト定着長、ベースプレート寸法を御指示下さい。 ・SG1、SG3、SG11、SG22 ・sb14、sb19、sb24、sb24A、sb34、sb34m、sb10h、sb14h、sb19h、sb24h ・sP10、sP10B、sP12、sP15	アンカーボルト定着長は 40 d とします。 ベースプレート寸法は 梁 : 200×梁成 sP10B : 300×300 上記以外の間柱 : 200×柱成 とします。
構造 コミ置場・ボンベ庫	B-051	鉄骨間柱 sP14 の柱脚 BPL-16 の WxD 寸法を御指示下さい。	200×150 とします。
構造 公用車車庫	A-160	図面左下の躯体の部材において布基礎 A～A'断面・B～B'断面に「φ9 以上@300」とありますが、φ9 を D10 に読み替えて宜しいでしょうか。御	よろしい。

		指示下さい。	
構造 公用車 車庫	A-160	床スラブの仕様を下記の様に見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・スラブ厚：t150 コンクリート：土間コンクリート FC18N SL15 ・配筋：短長辺共 D10@200 シングル配筋 ・地業：捨てコンクリート t50+砕石 t100	よろしい。 ただし、配筋は短長辺共 D10@200 ダブル配筋としてください。
構造 既存棟 改修工事	A-179	仮設詳細図(1) 特高受電棟境界壁詳細図において RC ふさぎ壁の不明点を下記の様に見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・コンクリート強度：FC24N SL18 ・接着系アンカー：壁筋と同様に D13@150 ダブル定着 L=20d+埋込 L=8d	よろしい。 ただし、接着系アンカーは D13@150 シングル定着としてください。
構造 既存棟 改修工事	-	新設 RC 立上りを下記の様に見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・コンクリート強度：FC24N SL18 ・配筋 壁厚 W150 未満：縦横共 D10@200 シングル、後施工アンカー D13@200 シングル ・配筋 壁厚 W150 以上：縦横共 D10@200 ダブル、後施工アンカー D13@200 シングル	よろしい。 ただし、W150 以上の配筋は縦横共 D10@150 ダブル、あと施工アンカーの定着長は 40d としてください。

		・後施工アンカー：接着系 定着 L=20d+埋込 L=8d	
構造 既存棟 改修工事	B-114	下記部材のベースプレート WxD 寸法を御指示下さい。 ・ sb20 ・ sb35A ・ sg1 ・ sP25	sb20 : 250×400 sb35A : 200×350 sg1 : 200×400 sP25 : 450×450 とします。
構造 既存棟 改修工事	B-114	鉄骨階段詳細図においてサウ部分のアンカーは 2-M20 とありますが鉄骨部材リストでは 2-M20 の表記は無く、4-M20 となっています。4-M20 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	床へのアンカーが 2-M20 で、梁へのアンカーが 4-M20 です。
外部	A-004 A-023 A-036	R2 階屋上のドレンについて R1 階平面図ではφ100 とφ125 が 1 箇所ずつ、矩計図(1)ではφ100、7・8 階平面詳細図では 2 箇所共にφ125 とそれぞれ相違しています。7・8 階平面詳細図を正とし 2 箇所共にφ125 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	125φを正とします。
外部	A-004 A-025	8 階屋上からの縦樋について特記仕様書(建築 2)では SGP・VP の 2 種類記載が御座いますが 8 階屋外機置場からの縦樋は矩計図(3)では	SGP 管 150φとします。

		SGP150φです。8 階屋外機置場からの縦樋は VP 管 150φと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
外部	A-007A-025	8階屋上の 8FL～R2F 間の押出成形セメント板の目隠し壁について立面図(3)では H=3150 ですが、矩計図(3)では H=1400 と相違しています。立面図(3)を正とし 8FL～R2F 間の押出成形セメント板の目隠し壁は H=3150 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	矩計図を正とします。
外部	A-025	8 階屋上の 8FL～R2F 間及び R2F～最高高の押出成形セメント板の目隠し壁について屋上側にフッ素樹脂塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外部	A-004 A-025	R2FL の屋外設備置場のファインフロアについて R2 階平面図では Y1・Y3 通で外周部のファインフロアとは分離されていますが、矩計図(3)では連続しています。矩計図(3)を正としファインフロアは連続しているものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面図を正とします。
外部	A-004 A-009 A-010	R1FL+1300、R2FL の屋外設備置場の手摺について R1 階平面図及び R2 階平面図ではファインフロア端部に全周設置されていますが、断面図(1・2)	平面図のとおり必要とします。なお仕様については A158 図参照ください。

	A-025	及び矩計図(3)では手摺の図示はありません。 R1FL+1300、R2FL の屋外設備置場に手摺が必要な場合は手摺の部材メンバー、H 寸法を御指示下さい。	
外部	GEN-017 A-024	DS 屋根のダブル折版について矩計図(2)にガルバリウム鋼板 t=0.8 と御座いますが、特記仕様書(建築 2)より上弦材はカラーガルバリウム鋼板 t=0.8、下弦材はガルバリウム鋼板 t=0.6 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外部	A-023 A-156	8 階屋上廻りのパラペット内壁の角波鋼板について部分詳細図(8)にガルバリウム鋼板 t=0.8 と御座いますが、カラーガルバリウム鋼板と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	ガルバリウム鋼板とします。
外部	A-024 A-036	DS のダクト配管口の SUS PL について W 寸法が不明です。W=9000 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W8200 とします。
外部	GEN-016A-013	屋上のアスファルト防水の保護コンクリート内の溶接金網についてサイズが不明です。φ 6-100*100 にて見込んで宜しいでしょうか。また特記仕様書(建築 1)で排水溝が適用されていますが、モルタル仕上(溶接金網 φ 2.6-50*50 入り)と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 よろしい。

外部	A-008 A-023 A-025	1 階コンクリート腰壁面の仕上について立面図(4)では凡例 F5:弾性吹付タイルですが、矩計図(1)ではフッ素樹脂塗装(クリア)と相違しています。矩計図(1)を正とし 1 階腰壁及び各階腰壁・梁型はフッ素樹脂塗装(クリア)と考えて宜しいでしょうか。	外構部分からの立上り壁については吹付タイルとします。
外部	A-023	コンクリート面のフッ素樹脂塗装(クリア)について矩計図(1)で RC 打放しと御座いますが、型枠は化粧型枠を使用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外部	A-005 A-006	外壁の押出成形セメント板の出隅部分の納まりが不明です。コーナーパネル(W=300+300)あるいは 45° カットが必要でしょうか。押出成形セメント板の出隅部分の納まりを御指示下さい。	出隅突合せ処理 (45° カット加工品) とします
外部	GEN-016 A-023～026	特記仕様書(建築 1)に地下外壁防水(Y-1)が適用されていますが、矩計図(1～4)では図示がありません。地下外壁防水(Y-1+保護モルタル)は必要でしょうか。御指示下さい。	必要とします。ただし、保護モルタルは不要とします。
外部	A-046	渡り廊下の堅樋について SGP125φ と御座いますが SGP 面に塗装仕上は不要でしょうか。塗装が必要な場合は塗装の仕様を御指示下さい。	DP 塗装とします。

外部	A-046	渡り廊下の堅樋について系統数が不明です。1系統と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	2系統見込むものとします。
外部	GEN-017 A-046	渡り廊下の軒天のアルミサッシの表面処理について特記仕様書(建築 2)では F-BE ですが、渡り廊下詳細図では B-2 と相違しています。渡り廊下詳細図を正とし B-2 と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外部	GEN-016 A-046	渡り廊下の外壁の押出成形セメント板の厚みについて特記仕様書(建築 1)では外壁は厚さ 75 ですが、渡り廊下詳細図では厚さ 60 と相違しています。渡り廊下詳細図を正とし渡り廊下の押出成形セメント板の厚さは 60 と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	厚さ 75 とします。
外部	A-159	ゴミ庫・ボンベ庫の外壁 ALC 版の出隅部分について平面図よりコーナーパネル(W=300+300)を使用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外部	A-148-4 A-148-7	屋上の鉄骨基礎も設備基礎と同様、塗膜防水改修が必要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

内部 共通	A-13	仕上表(共通事項)にて、間仕切の施工方法が以下で相違しています。○を採用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○(17)耐火、遮音壁以外のボード類は、天井仕上面より 100 上まで貼る。 ×(27)LGS 間仕切壁は、特記なき限り、LGS・ボード共にスラブ底までとする。	(27) を正とします。
増築	A-33～36	平面詳細図に吊戸棚の指示がありますが仕様・高さを御指示下さい。	吊戸棚はリスト中に掲載あるものをお見込みください。
増築	A-15・36	7F 動物舎感染実験室の仕上表にパステックスの指示がありますが、平面詳細図では図示がありません。L=600 白衣掛け 2 ヶと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	同前室 1 脇の廊下側壁に設置します。文字が壁ラインと重なっていますが設置するものとしてください。

増築	A-013 A-016 A-056 A-149	増築・既存棟改修のWC・給湯室の壁仕上に於いて、化粧ケイカル板下のボード仕様は耐水PBに読み替える必要は無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。上記、耐水PBに読み替える場合、ボード2枚張の場合は上張を耐水PBに変更とし耐火間仕切面の場合は、耐水PBを増張すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	読み替える必要はありません。
増築	GEN-020 A-149	部分詳細図(1) 便所手摺(1)より、手摺下地は手摺外形+100mm程度とあります。はね上げ式手摺・背もたれの下地の寸法は、詳細図が無い為、大きさを御指示下さい。	各仕様はGEN020図に示す同等品をご参照ください。ただし、背もたれについては不要とします。
増築	GEN-020 A-037 A-121	WC 洗面カウンターに於いて、展開図 正面からは背面にライングがある様な記載ですが、特記仕様書(建築5)の洗面カウンター品番より、展開図にてライングとあるのは、洗面カウンター上部に付属する荷物置台と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ※既存改修棟も同様に考えています。	よろしい。
増築	A-149	給湯室 流し台背面の小口塞ぎカバーの仕様は不明です。水切カバー同仕様ステンレス製 t=0.8 加工と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	壁仕上同様とします。

増築	A-011 A-037	MWC・WWC の天井伏図に於いて、折上天井の凡例がありますが、便所詳細図では記載がありません、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図を正とします。
増築	A-016 A-037	MWC、HWC 前室の仕上が不明です。床・巾木・天井はWC 仕上に倣い、壁仕上は EP-G 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	廊下仕様にならうものとします。
増築	A-016 A-121	SK 内の棚・吊りフックの仕様に於いて、既存改修の便所詳細図 SK の棚・掃除具掛けフック仕様に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
増築	A-150	5 F 洗浄室の防水仕上に於いて、部分詳細図（２）／壁及巾木立上要領図の記載より、保護モルタルの記載がありません。保護モルタルは必要でしょうか。御指示下さい。	不要とします。
増築	A-035 A-150	5 F 洗浄室の排水枡に於いて、平面詳細図と部分詳細図（２）／D-2 でW*D寸法が相違します。部分詳細図（２）／D-2 560角を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
増築	A-151	部分詳細図（３） 床下点検用クランプ 支柱の足元支持はコンクリート台座にベースプレート+アンカー止めと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 安全性に問題のない仕様として見込んでください。

		上記正の場合、仕様も併せて御指示下さい。	
増築	A-004	地下水槽の床 水勾配は免震ピット同様に 1 / 100 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
増築	GEN-019 A-004	地下水槽への点検口に於いて、平面図よりマンホールとあります。特記仕様書（建築 4）の床下点検口（ステンレス製 600 角）は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
増築	A-023 B-021	免震ピットに於いて、免震装置基礎部の仕上は以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ●立上り天端・・・コンクリート金鰈 素地 ●立上り・立下り・立下り上げ裏・・・コンクリート打放補修 素地	よろしい。
増築	A-038 A-039	EV シャフトに於いて、EV 開口枠廻りに RW 充填が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。上記必要な場合、RW の仕様・詳細も併せて御指示下さい。	よろしい。80kg/m3 とします。
増築	013	仕上表（共通事項）ー内部仕上げで、屋内機械基礎は床と同等の仕上を行うと記載があります	よろしい。

		が、1 F コンプレッサ室の床仕上げがビニールシートです。基礎の仕上はコンクリート素地仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
増築	A-033 B-009	2F 発電機室、N2 消火ポンプ庫の床が、構造図では FL-300 ですが、意匠図では床下げ範囲になっていません。構造図を正と考え、嵩上げコンクリート300を見込むべきでしょうか。御指示下さい。	嵩上げコンクリート+ワイヤーメッシュ 6φ-100 を見込むこととします。
増築	A-033	2 F 発電機室の配管ピット、排水溝の仕様が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・配管ピット 蓋ーアルミ製 ピット深さ H=300 ・排水溝 蓋ーステンレスグレーチング W=150 溝 W100*H100 仕上ー防水モルタル	配管ピット蓋：ステンレスグレーチング細目ノンスリップ 防水モルタル+同室内塗床仕上 深さ 300 排水溝：上記に同じ 溝 W150xH150
改修	A-105A-121	1 F HWC・MWC1・WWC1 の壁仕上に於いて、X4 通り側の壁凡例が、便所詳細図と平面詳細図で記載が相違します。平面詳細図の WS3 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。便所詳細図が正の場合、WS5b 凡例の壁仕様が不明の為、詳細を御指示下さい。	よろしい。
改修	A-037	WC 内のライニング仕様は、増築棟便所詳細図のライニング詳細図に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

改修	A-056 A-058 A-121 A-122	1 F HWC・MWC1・WWC1、3 F HWC の前室の壁仕上に於いて、便所詳細図の壁凡例が WS 1・WS3 となっており、ボード 2 枚張下地の壁下地となります。仕上は EP 塗装でしょうか。御指示下さい。 また、床・天井は WC 仕上に倣うものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	1 階 WC 前室部分の仕上は、1 階一般エントランス兼展示コーナーにならうこととします。 3 階 WC 前室部分の仕上は、3 階ホワイエにならうこととします。
改修	A-056 A-058	3 F MWC・WWC の壁仕上に於いて、柱型コンクリート面の改修内容が a とありますが、仕上は EP 塗装の為、改修内容凡例は e に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-058 A-122	3 F WWC 横収納の仕上が不明です。WC 仕上に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-123	各階 MWC 2・WWC2 に於いて、便所詳細図より、階毎に寸法が異なりますが、トイレブース・洗面カウンターについては、各階同一寸法で考えて宜しいでしょうか。相違する場合は、御指示下さい。	よろしい。
改修	A-057 A-058 A-107 A-108	2 F 給湯室・3 F 給湯室 2 平面詳細図に流し台の記載がありません。仕上表備考欄には記載があるので、必要でしょうか。御指示下さい。	必要とします。

改修	A-137 A-139 A-140	EV 詳細図 断面図より、ピット防水改修工事とあります。既存防水面に再度 塗膜防水 X-2 仕上を行うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-115	8 F 培養室・電位差滴定室他 各所に吊戸棚がありますが仕様を御指示下さい。	実験什器機器類リストに掲載するものを見込むこととします。
改修	-	外壁断熱は既存残し（新設は無し）と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-95 A-112～ A-120	鋼製床の高さが、矩計図では H=1070 ですが、平詳右下には H=970 と記載があります。H=970 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-072 A-120	13F 第2電気室の仕上表で、床下地が二重床になっていますが、平詳では二重床範囲になっていません。二重床の場合は仕様を御指示下さい。	H300 の二重床とします。
改修	A-150	低温室詳細図で、9 F 試料保管室の指示がありますが、12 F 低温室にも該当すると考えて宜しいでしょうか。また増築等のその他低温室は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	9 階のみを対象とします。

改修	A-108 A-158	3F 多目的室(大)において、ジャグジー撤去部分の床下地は、二重床 H1500 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	H1180 とします。
改修	A-058 A-098 A-132-3 A-132-4	3F 多目的室(大)において、天井高が下記の様になっております。矩計図・展開図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1)仕上表・・・CH3200 2)矩計図・展開図・・・CH3000	CH3000 とします。
改修	A-051 A-132-3 A-132-4	3F 多目的室(大)において、間接照明の内々のサイズが下記の様になっております。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1)天井伏図・・・2500(3200)*7200 2)展開図・・・3100(4150)*8050	天井伏図を正とします。
改修	A-058 A-109	3F 多目的室(大)・備品倉庫 1 において、仕上表床下地に RC と二重床の 2 種類が記載されておりますが、平面詳細図(改修)より、全面二重床と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-051 A-132-3 A-132-4 A-156	3F 多目的室(大)において、間接照明のサイズが下記の様になっております。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1)天井伏図・・・W400*H450	部分詳細図を正とします。

		2)展開図・・・W350(450)*H450 3)部分詳細図・・・W175*H450	
改修	A-109	3F 多目的室(大)において、X3 通りの柱型の壁 下地は FK8.0 GL 工法と考えるて宜しいでし ょうか。御指示下さい。	X1 通り同様に W1a+FK8.0+NS とし ます。
改修	A-108 A-132-4	3F 多目的室(大)において、展開図では外 壁面の壁下地が「既存 LGS 下地の上 GB- R12.5+FK8.0+NS 目透し貼」と記載され ておりますが、平面詳細図(現況)では LGS は撤去になっております。既存 LGS を新 設 LGS に、GB-R12.5 を GB-R12.5+12.5 に読み替えて宜しいでしょうか。御指示 下さい。	LGS 新設のうえ、各壁種+FK8.0+NS とします。
改修	A-109 A-154	3F 多目的室(大)において、スライディング ウォールの天井裏の遮音壁が下記の様にな っております。平面詳細図(改修)を正と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 1)平面詳細図(改修)・・・WS1 2)部分詳細図・・・ボート下地@455+GB- R12.5+GW75	A132-4 図の仕様をを正とします。GB- Rt12.5 2 枚張り両面、グラスウール充 填 t 50 24kg とします。
改修	GEN-019	3F 多目的室(大)において、スライディング ウォールの表面仕上(壁紙)は不燃ビニル クロスと考えるて宜しいで	織物クロスとします。

		しょうか。またメーカー・品番も併せて御指示下さい。	
改修	A-154	3F 多目的室(大)において、 ⁷ 材 ⁶ 祢の戸当り枠の仕上はSOP 塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	焼付塗装とします。
改修	A-081	3F 多目的室(大)・備品倉庫 1 において、AW-17・20 は ⁷ 材 ⁶ 額縁も既存のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-109	3F 多目的室(大)において、スクリーン BOX は ⁷ 材 ⁶ スチール t1.6 W200*H200+SOP 塗と考えて宜しいでしょうか。またスクリーンの工事区分・仕様・メーカー・品番も併せて御指示下さい。	よろしい。なおサイズは W150xH160 とします。 また、スクリーンは別途工事とします。
改修	A-109	3F 備品倉庫 1 において、間仕切 TS1 と取合う既存建具 AW-17 は、 ⁷ 材 ⁶ 壁 W1a で塞ぐ必要があるでしょうか。御指示下さい。	そのままとします。
改修	A-051	3F 備品倉庫 1 において、ブラインド・ブラインド BOX は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。
改修	A-105	1F 図書室の柱型等が GL 壁の指示ですが、特記無き限り PBt=12.5 GL 工法として宜しいでしょうか。御指示下さい。	FK8. 0GL 工法とします。

改修	A-101 A-127-2	1F 図書室の矩計図による 2FL のスチール床についてですが、展開図にありません。無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
改修	A-099 A-132-5	1F 一般用エントランス兼展示コーナーの矩計図による X3 通りの幕板についてですが、展開図にありませんが、幕板は必要でしょうか。御指示下さい。	必要とお考え下さい。ただし新設壁のある Y1-3 間は不要とします。
改修	A-058 A-100 A-132-2	3F 初仕上りの壁仕上についてですが、仕上表によると NS ですが、矩計図及び展開図によると EP・EP-G・フッ素塗装の指示です。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。又、矩計図及び展開図が正の場合、EP・EP-G・フッ素塗装のそれぞれの具体的な範囲を御指示下さい。	全ての範囲を EP 塗装とします。
ゴミ・ボンベ庫	A-150	部分詳細図に記載されている塗床立上げ天端のアルミ見切縁+シーリングは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ゴミ庫・ボンベ庫については不要とします。
ゴミ・ボンベ庫	A-159	排水溝・排水桝内の仕上を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。1)排水溝・・・防水モルタル塗+無機質系塗床 W200*H1502)排水桝・・・防水モルタル塗+無機質系塗床 300*300*H300	よろしい。ただし、排水溝サイズは 150x150 とします。

ゴミ・ボンベ庫	A-159	外壁廻り詳細図の立上り天端に記載されている打込み PL は、内壁廻り・根巻の天端にも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ALC 取り付け金物に含むものとし、ALC 壁を設置する範囲に必要とします。
ゴミ・ボンベ庫	A-159	外壁廻り詳細図の立ち上がり天端に記載されている打込み PL の仕上は SOP 塗と考えて宜しいでしょうか。また厚みも併せて御指示下さい。	SOP 塗装は不要とします。
ゴミ・ボンベ庫	A-159	ゴミ庫に「境界はライン引き」と記載されておりますが、延焼の恐れのある範囲と表しが同じで施工範囲が不明瞭です。短辺方向に 1 箇所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
既存棟	A-056	1F 公用駐輪場、塵芥集積倉庫の巾木が床材立ち上げとありますが、既存塵芥集積倉庫に倣い H=700 立ち上げと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	H100 とします。
既存棟	A-107	2F 防災センターの X5 通り・柱横にある物が建築工事であれば仕様を御指示下さい。	別途工事の事務機器を示します。 (コピー機)
既存棟	A-059 A-097	3F 前室 2 の床仕上げについて、仕上表で二重床 + ヒールシート、矩計図で二重床 H=160+OAH=100+タイル・ベットと異なります。矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下	仕上表を正とします。

		さい。	
既存棟	GEN-019	特記仕様書(建築 4)で OA フロア/二重床下の防塵塗床が必要とありますが、OA フロア、二重床下はすべて必要でしょうか。御指示下さい。	よろしい。
既存棟	A-107	2F 宿直室、清掃員控室、洗浄職員控室、資料室・倉庫 2、面談室で家具、いすベツトなど平面詳細図で実線の図示ですが、別途と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	別途とします。
既存棟	A-059	4F 女性更衣室、男性更衣室のカテナールについて、範囲は踏み込み部、各 3.0m 程度仕様は天井吊りアール H=500 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	踏み込み部については不要とします。
既存棟	A-059 A-118	11F 資材室の仕上表に手洗い器ライング、鏡とありますが平面詳細図でみあたりません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
既存棟	A-078	10F 休養室前室 UB に建具 LSD221 がありますが、UB の為、LSD221 は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。
既存棟	A-050 A-068	11F 男性・女性更衣室の仕上表に踏み込みとありますが、部分詳細図(3)のフローリング 踏み込み詳	必要とします。

	A-151	細図の框は立面図(4)断面図(3)より段差がない ようですので 11F の更衣室には框は不要で宜 しいでしょうか。御指示下さい。	
建具	A-094	既存棟の新設シャッターに於きまして、建具表に防 火性能の記載がありませんが、特定防火設備と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
建具	A-022	増築棟の AW-106 に於きまして、Low-E 仕様の 記載がありませんが、防火設備のため、個別認 定制度より Low-E が必要と考えて宜しいでし ょうか。御指示下さい。	ガラスはフロートペアガラスとしますが、AW 施工時 に防火認定を取得した建具によって工事を行うこ ととします。
建具	GEN-018 A-033～ A-036	特記仕様書 16,20 ガラス用フィルムに於きまして、 AW 遮光範囲に遮光フィルムの記載がありますが、 該当建具は平面詳細図に遮光の記載のある AW-101,106 と考えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	よろしい。
建具	GEN-018 A-020～ A-022	内部建具に目隠しフィルムの記載がありますが、適 用範囲が不明です。また、内部建具のガラスに用 いるガラスフィルムの仕様が不明です。御指示下 さい。	内部建具のガラス面すべてに用いるものとします。 3M ファサラフロスト/マット同等品とします。
建具	A-020	増築棟の SD-122 に於きまして、仕上げに DP とありますが、内部建具のため SOP と考えて宜 しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

建具	GEN-018	SDW のガラスフィルムに於きまして、AW と同様に 3M ULTRAS800 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	3M ファサラフロスト/マット同等品とします。
建具	A-092	既存棟新設建具の SD-208 に於きまして、建具仕上に DP とありますが、その他の SD の仕上に合せ SOP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
建具	A-153	部分詳細図(5)に於きまして、既存棟 CW の防火改修の記載がありますが、既存棟図面に該当箇所の図示がありません。該当箇所を御指示下さい。	既存建具の改修はありません。当該詳細図設置範囲については、平面詳細図を参照ください。
建具	A-019	建具表の共通事項に於きまして、鋼製建具に PS,DS の点検口は AT とするとありますが、建具表の PS,DS には AT の記載ではないものもあり相違しています。AT 等の仕様は建具表を優先と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	共通事項を正とします。
建具	A-019	建具表の共通事項に於きまして、I その他にインターロック建具については建具枠廻りにシーリングを施すとありますが、シーリングの納まり(片面・両面、仕様・サイズ等)が不明です。御指示下さい。	建具枠三方に MS-2 10×10 (両面)を見込むこととします。

外構	GEN-020 A-163	インターロッキングブロックについて、特記では 300 角（太平洋プレコンナブル）となっていますが、外構詳細図 1 では 100*200 角（ユニオンストレートロッキング ai）と相違します。外構詳細図 1 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
外構	GEN-020	特記舗装工事で路床安定処理に印がついていますが、外構図及び外構詳細図には路床安定処理の記載がありません。路床安定処理が必要な場合は範囲・厚み等を御指示下さい。	不要とします。
外構	A-161 A-163	ゴミ庫裏の U 型側溝は外構詳細図 1/U 字側溝と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおり A163 図の U 字側溝とします。
外構	A-163	L 型側溝(U 型+縁石)について、溝深さが不明です。平均 H300 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	U 型側溝部分については平均 H300 とします。
外構撤去	A-182	不発弾探査仕様書 4 探査方法 b) 鉛直探査 ジェット式ボーリングでの削孔とありますが、水を大量に要し既存躯体撤去後地盤での排水対策も必要となることや、地層の状況によっては削孔作業が困難な場合もあります。作業性を	不発弾探査方法については、現場の状況により適切な方法を採用することは可能としますが、探査を確実に行える工法を採用するものとしてください。

		考慮して、ロータリー式ボーリング機としてもよろしいでしょうか。	
仮設計画	A-169	記念碑、北面歩道切り下げは所有者、道路管理者等関係官庁との協議済みとして、4月受注後から必要書類提出の上、移設、切り下げ工事着手できるものとしてよろしいでしょうか。協議の内容についてご教示ください。	既に関係官庁と協議は行っていますが、施工者の立案した具体的な計画により最終的な協議を行い許可を得るものとします。
意匠図 構造図	A023 B008	意匠矩計図 A-023 において、基礎底レベルが 1FL-5500 となっておりますが、構造伏せ図 B008 の伏図では 1FL-6000 となっております。構造図 B008 を正として、1FL-6000 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN021	構造特記仕様書 GEN-021 図において、コンクリート配合 Fc24N-S18cm は「腰壁、既存等増打補強部」とありますが、免震層外周の擁壁部(免震層床より上部)にも適用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Fc33N-S18 とします。
総合図	GEN021	構造体コンクリートに、耐久設計基準強度(Fd)の適用は無いものとして宜しいでしょうか。 必要な場合、計画供用期間の級を御指示下さ	よろしい。

		い。	
総合図	GEN021	構造体コンクリートにおいて、 単位セメント量：270kg/m ³ 以上 水セメント比：65%以下 として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 ただし、低熱ポルトランドセメントを用いるマスコンクリート部は水セメント比を 60%以下としてください。
総合図 構造図	GEN021 B031～036、040	特記仕様書 GEN-023 において、PCa・PC 梁のコンクリート配合が Fc60・S12 とありますが、上部増し打ち部(現場打ち部)のコンクリート配合は Fc36N・S15cm と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 構造図	GEN021 B031～036、040	PCa・PC 梁以外の大梁・小梁の現場打ちコンクリート部は、Fc36N・S15cm として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN021	柱パネルゾーンの現場打ちコンクリートは、Fc36N・S15cm として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B002 B047	人通孔も含めた梁貫通補強に、既製品を使用することは可能なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

総合図 構造図	GEN021 B031	PCa 大梁の上端現場挿入筋は、機械式継手として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 構造図	GEN021 B020	地中梁主筋に定着板を使用することは可能なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。 可能な場合、上端筋・下端筋のすべてに使用することは可能でしょうか。御指示下さい。	よろしい。評定等の適用範囲内であれば、上下主筋ともに使用することは可です。ただし、各メーカーで計算方法が異なるため、工法選定時には本建物における可否を検討する必要があります。
総合図 構造図	GEN021 B024	1 階大梁主筋に定着板を使用することは可能なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。 可能な場合、上端筋・下端筋のすべてに使用することは可能でしょうか。御指示下さい。	よろしい。評定等の適用範囲内であれば、上下主筋ともに使用することは可です。ただし、各メーカーで計算方法が異なるため、工法選定時には本建物における可否を検討する必要があります。
総合図 構造図	GEN021 B020、024	地中梁・1 階大梁の継手に機械式継手を使用することは、可能なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A033、156	1F の X1・7 通りで外周腰壁と PCa 柱との間隔が狭くなる箇所がありますが、緩衝材等は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
総合図 構造図	GEN021 B031～36	最上階大梁に定着板を使用することは可能なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。 可能な場合、上端筋・下端筋のすべてに使用することは可能でしょうか。御指示下さい。	よろしい。評定等の適用範囲内であれば、上下主筋ともに使用することは可です。ただし、各メーカーで計算方法が異なるため、工法選定時には本建物における可否を検討する必要があります。

構造図	A158	増築棟 南東角の EXP.J 床の詳細図 A158 において、擁壁及び基礎小梁側面に EXP.J 床乗せ掛けのアーコがあります、配筋詳細が不明です。配筋詳細を御指示下さい。	D13@200、直交筋 D13@200 ダブルとします。
意匠図 構造図	A002 B009	1F 南側片持ちスラブ CS3 の 1FL-800 範囲について、構造伏図 B-009 では、Y2-2000 通りの CB2 でレベルが変わっておりますが、意匠図 A-002 では Y2+600 通りの外部階段際まで 1FL-800 となっているように見えます。 意匠図を正と考え、Y2+600 まで 1FL-800 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	GEN021	コンクリート配合について、Fc33N-S15cm マスコンクリートの適用範囲を「免震層以下」とありますが、スラブ下端までの地中梁が該当すると考えて宜しいでしょうか。また、スラブ厚分は Fc33N-S15cm マスコンクリート適用外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	マスコンクリートは地中梁が該当しますので、1FL-3400 以下としてください。
意匠図	A025	矩計図 A-025 において、免震ピット床に勾配がありますが、補強筋等は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増し打ちが 70mm を超える箇所については、WM-φ6@100 を入れることとしてください。

意匠図 構造図	A004 B002	地下ピット平面図 A-004 の連通管 φ 200 半割り、通気管 φ 150 の貫通補強要領について、通気管 φ 150 は配筋規準図 B-002 の配筋種類 : H1、連通管 φ 200 半割りは無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	連通管は φ 125 半割り、通気管は φ 125 とし、補強は不要とします。
意匠図	A024	矩計図 A-024 において、1FL-3150 の免震ピットスラブ下にポリエチレンシート t0.15 の 2 枚敷き+捨てコン t50+砕石 t60 とありますが、1FL-1100 の上がったところのスラブ下には捨てコン t50+砕石 t60 のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	同様にポリエチレンシートを見込むこととします。
構造図	B003	配筋規準図 B-003 に鉛直スリット幅 W は梁下有効幅 1/100 とありますが、W18 の腰壁の鉛直スリット幅は全て t25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	B013 図に示しますように、腰壁高さの 1/100 以上としてください。
構造図	B31～35	構造図梁リストの特記において、PC 部材の PCa 上端筋(D16)は梁内定着とありますが、取付き先の梁部材への定着とせず、PCa 部材端部に立下げて定着とするものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

構造図	B10、029	増築棟 4F 伏図において、Y2-3、X3-5 通り間に S1 符号のスラブがありますが、B-029 図 KEYPLAN4F 伏図では現場打ちコンクリートと指示はありません。スラブ S1 は他階同様の現場打ちスラブと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A025 B011	矩計図 A-025 の 8F において、Y1・3 通り外側にパラペットを受ける片持ちスラブがありますが、構造伏図 B-011 では現われておりません。Y1・3 通り外側の全面に柱外面まで CS2 があるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 構造図	GEN021 B025	機械基礎のコンクリート配合が不明です。Fc21N・S15cm、耐久設計基準強度(Fd)及び構造体強度補正值(S)は適用しないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Fc36N S15 とします。
意匠図 構造図	A033 B025	2F 発電機室に H400 の機械基礎がありますが、アゴ無しタイプ の桁筋 D10@200、端部 1-D13、腹筋 1-D10 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B011、026	8FL から鉄骨柱がありますが、根巻部の鉄骨周囲に緩衝材は必要ないものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図 構造図	A036 B011	8F 平面詳細図 A-036 の X1-3000~X1・Y1~Y1+2500 通り間に床がありますが、8F 構造伏図 B-011 では床はありません。Y1 通り CG1 の Y2 側に CS1 があるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	スラブ S1 としてください。
意匠図 構造図	A036 B011、026	8F 平面詳細図 A-036 の X1-3000・Y1~Y1+2500 通り間に鉄骨柱の根巻がありますが、詳細が不明です。寸法・配筋は B-026 図の SC13A に倣うものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	500×500×800、主筋 12-D13、フープ□-D10@100 としてください。
意匠図 構造図	A036 B011、026	8F 鉄骨柱の根巻部のコンクリート配合は Fc36N-S15cm と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B029~030	KEYPLAN 図 B-029~030 に柱廻りのスラブ補強筋がありますが、鉄筋寸法、鉄筋の割り付け範囲が不明です。鉄筋寸法、割り付け範囲を御指示下さい。	鉄筋本数は各 5 本とし、長さは梁の片側から出る鉄筋は 1.5m、梁の両側に出る鉄筋は 2.5m としてください。
構造図	B043	PCa 大梁・現場打ち小梁 納まり詳細図について、小梁の腹筋はインサート不要とし、PCa 大梁への定着は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

構造図	B040	PCa 大梁-PCaPC 小梁の納まりについて、A 部及び B 部詳細図より、小梁の PCa 上端筋と PCa 下端筋はインサート不要とし、PCa 大梁への定着は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B012、026、	鉄骨部材リスト B-026 図において、外周 DS 部 scb29 元端の現場打ちコンクリート内に補強筋 1-D22 がありますが、B-012 図の R2F 躯体外周部に取付く scb29 以外の鉄骨元端に補強筋は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B047	B-047 図の梁貫通補強要領一覧について、同図の 1F 梁 G11・G12・G12B に $\phi 100$ の貫通が存在しますが、梁貫通補強要領一覧の通り補強は不要として宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-047 図によってください。
総合図	GEN019	特記仕様書 GEN019 図において、押出法 [®] リスレインフォーム保温板 3 種 b(スキン層付)の施工箇所に「接地部分」とありますが、増築棟は該当範囲無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 構造図	GEN-021 B-031	特記仕様書において、帯筋は溶接閉鎖型とありますが、高強度せん断補強鉄筋、異形鉄筋共に溶接閉鎖型と考えて宜しいでしょうか。 又、一般部、仕口とも溶接閉鎖型と考えて宜し	よろしい。 よろしい。

		いでしょうか。御指示下さい。	
構造図	B021	免震材料基礎リスト B021 図において、免震基礎下部の主筋は重ね継手として宜しいでしょうか。御指示下さい。	重ね継手とする場合は、フック付きとしてください。
総合図	GEN-022	特記仕様書 無筋コンクリートについて、発電機室嵩上コンクリートに軽量コンクリート Fc18N-S15cm とありますが、軽量コンクリートの種別は 1 種と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
構造図	B-022	免震材料特記仕様書において、表示板を設置とありますが、1 か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	可動範囲注意喚起サインとして、地面からの立ち上がり RC 壁に 6 ヶ所設置してください。
意匠図	A024、025	ファインフロアの下地について、A024 図では下地 C-100*50*20*2.3@900 とありますが、A025 図では下地の記載がありません。A024 図の内部 DS となる範囲(梁の耐火被覆と取合う部分)のみ下地が必要とし、他の部分は下地不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増築棟東西の設備バルコニー・DS 部分については下地無しとします。内部 DS および屋上部分については下地ありとお考え下さい。
意匠図	A155	DS 廻りルーバー(横貼り)下地のタテ胴縁は、C-100*50*20*2.3@900 として宜しいでしょうか。	よろしい。 階高の中間に支持梁 sb10h を設けてください。

		また、構造図では、階高の中間に支持材がないように見えますが、不要なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	
意匠図	A155	屋外階段廻りルーバー(縦張り)下地のヨ胴縁は、C-100*50*20*2.3@900 として宜しいでしょうか。 また、構造図では、間柱の中間に支持材がないように見えますが、不要なものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正とし、ルーバー上下に取付金物として 2L-65×65×6 を見込んでください。
構造図 意匠図	B009 A155	アルミ [○] ネ下地鉄骨について、下段の H 鋼の寸法が構造図と意匠図で異なります。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B009	上記質疑の下段 H 鋼について、B009 図の Y1、Y3 通 外周アルミ [○] ネ受図では sP12 に sb14 を取付となっていますが、sP12 は通り芯より 2400、sb14 は通り芯より 2025 となっており位置が若干ずれています。sb14 の支持方法の詳細を御指示下さい。	sP12 より GPL-9, 上下 RPL-9 を出して、sb14 を支持します。
構造図	B023	免震材料リスト B023 において、減衰こま(RDT140)のアンカボルトはアンボンド [○] とありますが、アンボンド [○] の仕様に関する明記が無い為、アンボンド [○] 仕様ではなく、通常のアンカボルトと考えて宜しい	アンボンドとします。

		でしょうか。御指示下さい。	
構造図	B023	上記質疑において、アボンド仕様の場合は、仕様を御指示下さい。	シース管を設け、アンカーボルトにグリースを塗ってください。
総合図 意匠図	GEN023 A178	現場打ち杭のコンクリートについて、GEN023 図にて強度割り増し※行わないとなっていますが、評定ではくい頭部が施工地盤面下 2.0m未満となる場合は構造体強度補正值 S が必要です。A178 図より、施工地盤面下 2.0m未満となりますので構造体強度補正 S が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A047 B103	A047 図において、4 階 X5-Y5～6 に粘性壁がありますが、B103 図には有りません。構造図を正として無いものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A048 B104	A048 図において、6 階 X5-Y5～6 に粘性壁がありますが、B103 図には有りません。構造図を正として無いものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図 構造図	A048 B104	A048 図において、6 階 X5-Y1～2 に粘性壁がありませんが、B103 図には有ります。構造図を正として有るものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A047～048 B107～111	粘性壁の位置が、建具位置・間仕切り位置により、意匠平面図と構造軸組図で食い違っているか所が有ります。その場合は、意匠図の位置を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正としてください。
構造図	B112、113	無収縮モルタルの Fc が不明です。御指示下さい。	Fc30 としてください。
構造図	B112、113	B、D-タイプ [°] のグラウト材の Fc・フローを御指示下さい。	Fc30、フロー60cm としてください。
構造図	B112、B113	梁側増打部配筋要領において、腹筋 D13@200 は、後施工アンカーと溶接する必要はないものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B112、B113	梁側増打部の増打コンクリート厚さは、t=200 とし て宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

構造図	B102～106	粘性壁と小梁位置が重なっているところがありますが、小梁が取合う場合の粘性壁取付詳細が有りません。PC 鋼棒納まり・増打部配筋要領を御指示下さい。	PC 鋼棒を上下に通すタイプは中央部の PC 鋼棒を取りやめて小梁の両脇に配置してください。
構造図	B112	A・C タイプ の PC 鋼棒緊張は、アンボルト 工法として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B106、107	B106 図 12 階梁床伏図で、RW16・RW19 は上部梁・スラブ と縁を切ること と記載がありますが、これは既存壁にすでに縁切りがあるものとして宜しいでしょうか。 改修で新たに縁切りが必要な場合、その位置および縁切りの工法を御指示下さい。	よろしい。
構造図	B114	Sb20、sb35A、sg1、sP25 の B.PL 寸法が不明です。御指示下さい。	sb20:250×400、sb35A:200×350、sg1:200×400、sP25:450×450 としてください。
構造図 意匠図	B114 A102	鉄骨階段の詳細が構造図と意匠図で食違う部分があります。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・サラ H 鋼の側板 構造図：PL-12 片面 意匠図：PL-9 両面	ササラ H 鋼側板については構造図を正とします。段板 PL は意匠図を正とします。蹴込 PL は意匠図を正とします。

		・段板 PL 構造図：PL-4.5 意匠図：PL-6 ・蹴込 PL 構造図：PL-4.5 意匠図：パンチングメタル t1.6 (PL-4.5 なし)	
構造図	B102	3 階床梁伏図で、新設階段部に小梁・スラブが記載されていますが、撤去すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN016	押出成形セメント板で、パネル相互の目地は 2 重シールとするとありますが、二次防水(セフティーシール)工法と解釈して宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN016 A005～008 A033～037	押出成形版の出隅部について、特記にて『突合せ処理によること。』とありますが、「45° 留め工場切断し加工した製作コーナーパネル」を使用すると解釈して宜しいでしょうか。異なる場合は、出隅コーナー納まり詳細図を御提示下さい。	よろしい。
意匠図	A025 A156	東西外壁サッシ開口上部の垂壁押出成形版の厚みが矩計 t75 と部分詳細図 t60 で異なります。外壁に倣い t75 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A005～008 A156	外壁及び目隠し壁押出成形板の表面仕上フッ素樹脂塗装は、全て現場塗装と考えて宜しいでしょうか。工場塗装の場合は、工場塗装品成形版の参考メーカー・品番を併せて御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN016 A013	屋上防水の仕様が、特記[A-2]と仕上表(共通事項)[AI-2]で異なります。保護断熱防水[AI-2]を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN16 A13・156	上記、屋上防水立上りは、保護パッキン設置の為、仕上塗料は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN016 A013	上記、屋上防水保護コンクリート内の溶接金網は、φ6-150 角として宜しいでしょうか。御指示下さい。	φ6-100 角とします。
総合図 意匠図	GEN016 A013・156	上記、屋上防水の断熱仕様が、特記・部分詳細[ホリスチレンフォーム]と仕上表(共通事項)[PF 板フェノールフォーム]で異なります。特記[押出法ホリスチレンフォーム 3 種 b-A]を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN016 A23～26	免震塞ぎスラブ、階段踊場、東西梁天端の塗膜防水(歩行用)の参考メーカー・品番を御指示下さい。	ロンシール工業ロンレタン防水 U-2 仕様同等品とします。

意匠図	A023 他 A156	R2FL+4500 部のアルミ笠木寸法及び納まりが矩計図と部分詳細図で異なります。部分詳細図 W450 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	R2FL+4500 部の笠木については W450 を正とします。
意匠図	A005・006・007・010 A025	東西立面及び C-C断面図、又、矩計図(3)において、8 階部分の Y1(Y3)通+700 の位置にも目隠し壁の記載がありますが、仕上・仕様等の指示が御座いません。同位置に目隠し壁は必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。A007 図を参照ください。
意匠図	A005・006・007・010 A025	上記、目隠し壁が必要な場合、H寸法は立面図より H3300(8FL+1100～+4400 迄)とし、仕上・仕様は、他外壁同様に ECP t 75 フッ素樹脂塗装仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	他外壁同様 ECPt75 フッ素樹脂塗装仕上とします。
意匠図	A013 A005・023 他	仕上表(共通事項)の柱型(11)にて、『外壁面に誘発目地を設ける場合は、内壁面にも同箇所に設け、内外共シールを行う。』とありますが、免震ビット腰壁部(SGL+1100)においても同様に内部にもシールが必要で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A036 A156	屋上二重壁角波鋼板の端部(ECP 取合)についても、156 図の『ECP 端部収まり』を採用し、スチール t1.6 曲げ加工と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	端部はシーリングにて納めるものとします。
総合図 意匠図	GEN017 A024・156	屋上 DS ダブル折板屋根[三晃ダブルパック丸馳Ⅲ型]の仕様は、上弦材:ガルバリウム鋼板 t0.8、下弦材:ガルバリウム鋼板 t0.6、グラスウール t100 充填(10 kg/m ³)、と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A005~008 A023~026 A156	地上部腰壁の仕上がり、立面[F5:弾性吹付タイル]と矩計・部分詳細[フッ素樹脂塗装(クリア)]で異なります。フッ素樹脂塗装(クリア)を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	矩計図中フッ素樹脂塗装は 1 階腰壁部（とそれに続く部分）です。GL から立ち上がる壁は吹付タイル（複層仕上塗材）です。
意匠図	-	上記、打放し面フッ素樹脂塗装(クリア)の参考メーカー・品番が御座いましたら御指示下さい。	-
総合図 意匠図	GEN018 A005~008 A023~026	地下部(免震立上)腰壁の仕上がり立面[F5:弾性吹付タイル]と矩計図[複層塗材]で異なります。複層塗材を正とし、仕様は特記 15.4 に倣うと考えると宜しいでしょうか。立面図[F5:弾性吹付タイル]が正の場合は、仕様又は、参考メーカー・品番を併せて御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A005～008 A023～026 A156	柱及び梁型の PC 版面の仕上については、フッ素樹脂塗装と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A156	東西面 PC 梁底のリシン吹付(可とう形外装薄塗材 E)の参考メーカー・品番を御指示下さい。	エスケー化研セラミソフトリシン同等品とします。
意匠図	A25 A156	増築棟東西窓廻り詳細図のうち、屋上パラペット上裏の仕上が、矩計図[フッ素樹脂塗装(クリア)]と部分詳細図[リシン吹付]で異なります。部分詳細図[リシン吹付]を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	矩計図を正とし、屋上パラペット上裏については、フッ素樹脂塗装とします。
意匠図	A25 A156	上記質疑回答にて、フッ素樹脂塗装クリアが正の場合、同詳細図の PC 梁底の仕上もリシン吹付からフッ素樹脂塗装(クリア)に読替えが必要でしょうか。御指示下さい。	不要とします。
総合図 意匠図	GEN016 A023 他	特記仕様書:防水工事⑤塗膜防水で、地下外壁防水に適用○印がありますが、矩計図等では特に指示がありません。地下外壁防水は土に面する免震ピット壁面(設計 GL～地中梁天端迄)に必要と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN016	上記、地下外壁防水(Y 1)の保護緩衝材として、保護モルタルt25を見込むと考えるて宜しいでしょうか。	保護モルタルは不要とします。

		か。御指示下さい。	
電気図	E129、130	避雷針機器詳細図で④支持管取付参考図内で、 「避雷針取付架台は建築工事とする。」とありますが、架台の材質・形状寸法及び仕上等が不明です。取付架台詳細図を御指示下さい。	600 x 600 x H600 x 3 か所とします。
意匠図 総合図	A013、014 他 G019	天井 GB-D(T)9.5 は、防火材料:化粧 PB t 9.5 が消されているので、不燃石膏積層板 t 9.5 トラバ-チン模様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A014	5F 洗浄室のアスファルト防水は、E-1 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A150	BSL3 仕様の部屋で、壁出隅コーナーは、創建：55048 同等と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	創建 55075 同等品とします。
意匠図	A033	1F コンプレッサー室の機械基礎の仕上は、FS(耐薬)で宜しいでしょうか。御指示下さい。(基礎の仕上は床仕上に合わせるとあります。)	コンクリート素地仕上とします。
意匠図	A033	2F 機械室と電気室にある SD108 の両袖部 壁厚が厚くなっていますが、ECP t 75 にガラスワールマット t 50 仕上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

		い。	
構造図 意匠図	S009 A033	2F 発電機室と N2 消火ポンプ室の床スラブが-300 さがっています。嵩上軽量コンクリート t 300 とワイヤ メッシュ 6φ-100*100 が必要と考えて宜しいでし ょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図 意匠図	S009 A033	2F 危険物貯蔵庫 2 の床スラブが-140 下っていま す。嵩上軽量コンクリート t 140 とワイヤメッシュ 6φ- 100*100 が必要と考えて宜しいでしょうか。御 指示下さい。	よろしい。
意匠図	A016	7F 動物舎一般実験室の床下地が LC ですが、 RC を正とし、嵩上コンクリートは無しと考えて宜し いでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A012	8F 天井伏図で、観測室に折り上げ天井があり ますが、この部分の天井高さは CH3400 で宜し いでしょうか。御指示下さい。	観測室内については折上天井は無しとし、一律に CH3000 とします。
総合図	GEN17	特記仕様書に於いて、天井耐震補強は「*あり (図示)」と記載ありますが、図示が無いように 思われます。 必要な場合は、範囲及び仕様を御指示下さい。	無しとします。

意匠図	A013	柱壁の(11)で一般間仕切壁のボードは CH+100 ですが、(27)では LGS ボード 共スラブ までとあります。CH+100 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	(27) を正とし、スラブまでとします。
意匠図	A023	地下免震ピットの壁と梁型の仕上が、打放し補修 ですが、普通型枠外しのままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	打ち放し補修 B 種程度を見込むこととします。
意匠図	A033,037	1FMWC 柱型(X8/Y1)の下地が、便所詳細図では薄型 LGS ですが、平面詳細図では W2a です。W2a を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	便所詳細図を正とします。
意匠図	A011,012	廊下折り上げ天井の折り上げ部の仕上は、壁仕上と同じで宜しいでしょうか。御指示下さい。	折上部の仕上は仕上表（共通事項）によります。（壁と同仕上）A013 図を参照ください。
意匠図	A023,027,028,A033 他	矩計図、平面詳細図より、各間仕切のスタッコ巾は、階高の高さに関係なく、W100 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	特記なき限り LGS100 とします。
意匠図	A023,027,028,A033 他	外周ファシ壁のボード及び LGS は、共に天井止めと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A023,027,028,A033 他	上記が正の場合、ファシ壁のスタッコ巾は、W65 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。ただし 2 階の発電機室の外壁面や階段室の外壁面については W100 とします。

意匠図	A-150	床塗床又は防塵塗床の巾木端部アルミ壁見切りは、EPS と PS の巾木には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要です。
意匠図	A156	ハ小屋内部には断熱を施すとありますが、ハ小屋内部の壁と天井に、ウタ吹付 t 25 が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A033～036	各階建物のコーナー部分で外壁 ECP と柱に隙間がありますが、隙間部分をリブラス+力骨共で塞ぎそこにウタ t 25 吹付するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A149、A014～016	WC のライニング腰壁のみ耐水 PB t 12.5 で、他は PB t 12.5 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠	A016	WC 床 FS（消臭）は東リ、NS トル NW 同等で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN16	押出成型セメント板の間仕切りパネルが適用となっておりますが、範囲が不明です。増築棟において範囲は無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増築棟については該当範囲はありません。既存棟一部について適用します。

意匠図	A024・033～036	平面詳細図と矩計図で、X1 通り DS 取合い壁の仕様が食い違っております。リストの仕様を正とし、片面耐火壁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正とします。
意匠図	A024・033～036	上記が正の場合、矩計図に記載の『壁上部下地プレート St1.6 曲げ加工にて隙間塞ぎの上 GW 吹付』は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 構造図 意匠図	GEN16 B009～012 A029～031	増築棟において半乾式吹付ロックウールが必要な範囲は、以下と考えて宜しいでしょうか。 ① X1 通りの DS 廻り ② 屋外階段受け材 ③ 小荷物専用 EV 前室天井裏 ALC 受材	増築棟において半乾式吹付ロックウール（耐火被覆）が必要な箇所は各階の左記①、②、③の他、小荷物専用 EV シャフト廻り鉄骨を含むものとします。
構造図 意匠図	B009～012 A024・156	[X1 通りの DS 廻り]の鉄骨において、耐火被覆が必要な範囲は以下と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、必要な範囲を御指示下さい。 ・ 1～R1 階伏図の範囲で以下の符号 柱:SC2 梁:SG1、SG3 上記柱・梁に取付く間柱・小梁	よろしい。なお、鉄骨部材 sb・sp についても耐火被覆を行うものとします。

構造図 意匠図	B009～012 A029～031	[屋外階段受材]の鉄骨において、耐火被覆が必要な範囲は以下と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、必要な範囲を御指示下さい。間柱・小梁に耐火被覆が必要な場合、階段踊場の受け鉄骨の符号が不明なため、合わせて御指示下さい。 ・ 1～8 階伏図の範囲で以下の符号 柱:SC1 梁:SG1、SG2	よろしい。なお、鉄骨部材 sb・sp についても耐火被覆を行うものとします。
構造図 意匠図	B009～012 A029～031	上記に関連し、[屋外階段受材]において、間柱・小梁に耐火被覆が必要な場合、階段踊場の受け鉄骨(sb24 と踊場を繋ぐ小梁)の符号が不明なため、合わせて御指示下さい。	屋外階段のみを支える部材につき、耐火被覆は不要とします。
構造図 意匠図	B009 A030	[小荷物専用 EV 前室天井裏 ALC 受材]の鉄骨において、耐火被覆が必要な範囲は以下と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、必要な範囲を御指示下さい。 ・ 1 階伏図の範囲で以下の符号 ALC 床^パ 祉受け梁: sb19、scb19	よろしい。なお、各階における SC1、sP15、sb19、sb24 についても耐火被覆を施すものとします。

構造図 意匠図	B050 A046	[渡り廊下]の鉄骨において、耐火被覆が必要な範囲は以下と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、必要な範囲を御指示下さい。 ・屋根ブレースを除く鉄骨部材	よろしい。
意匠図	A156	耐火被覆が必要な『鉄骨柱・梁』と『壁(ECP・耐火間仕切)』が近接(クリアランス 200 mm以内程度)する場合、平面詳細図や矩計図にて鉄骨部材全周に耐火被覆が吹かれている場合であっても、壁材を耐火被覆材の一部とした合成被覆耐火構造にて計上するものとして宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A23・24・26・46	増築棟・渡り廊下棟において、矩計図に層間塞ぎ(ロックウール充填)が記載されておりますが、ロックウール W25*H150、受 PL 共で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W50xH150 とします。
意匠図	A37	各階 MWC の小便隔板は W900*H2000 ・仕様はトイレブースに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A37	各階 WC 洗面カウンターは扉ラシ化粧合板で内部仕上は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A16	各階 SK の吊フック詳細を御指示下さい。	既存棟 SK フック同仕様とします。
意匠図	A16	各階 SK の棚詳細を御指示下さい。	ポリエステル化粧板貼り積層合板 t15xD300 とします。
意匠図	A16	各階 SK のライニングは A149 図に倣い SUS304 t 0.6・W120 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ポストフォームとします。A037 図ライニング同様とします。
総合図 意匠図	GEN19 A11・12	天井点検口が特記仕様で額縁タイプ・目地タイプに適用ですが天井伏図より全て額縁タイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増築棟は額縁タイプのみ、既存棟は一部目地タイプとします。範囲は各天井伏図をご参照ください。
意匠図	A35・36・150	部分詳細図 D-11 カウンター（執務室・実験室）詳細が有りますが 5 階収去受付室・5 階感染症受付室・6 階検体受取確認・7 階受取室のカウンターも A150 図 D-11 と同じで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A4・156	地下ピット平面図、ピット人通孔前後 SUS タラップ・上部手摺と有りますが、部分詳細図にはタラップは有りません、人通孔上部手摺 1 段・下部タラップ 1 段（人通孔両サイド）・W300・ステンレスφ19 研磨なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	下部タラップは不要とします。

意匠図	A33	2 階発電機室のため柵が蓋なしと有りますが配管ピット蓋は A151 図に倣い SUS グレーチング 蓋 細目・ノンスリップ 歩行用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A27.28	階段の壁付手摺ですが階段外周壁面に全て取付すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
意匠図	A33～35	各階間仕切～窓取合い部分の層間塞ぎ金物は AW サッシュ H 寸法・スチール t 1.6 曲げ加工・ガラスウール充填(24kg 品)・SOP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	アルミ t1.5 曲げ加工 B-2 種 (ブラック系) とします。A013 図・ボード-サッシ取合ご参照ください。
意匠図	A33～35	又間仕切が方立にあたらない部分の層間塞ぎも同じように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 総合図	A33～36 GEN20	平面詳細図壁種凡例で補助散水栓に点検口 600 設置と有りますが特記仕様壁点検口(壁)加工工業ウォールハッチと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN15 A183～203	実験什器機器は本工事で宜しいでしょうか。御指示下さい。	図中リストに表記ある実験什器機器については本工事とします。

意匠図	A191～197 A33～36	平面詳細図と実験什器機器リストの食違いの場合は実験什器リストの数量を正と考え不要で宜しいでしょう	よろしい。
意匠図	A45	A45 図サイン▲自動ドア表示が有りますがLSD113・LSD115の両面組に必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A42～44	サイン数量がサインリストとサイン案内図で食い違いますがサイン案内図を正と考え階数表示(踊場)10か所・衝突防止サイン21か所・手摺点字35か所が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	階数表示(踊場)9か所・衝突防止サイン20か所・手摺点字32か所とします。
意匠図	A15	仕上表6階血清検査室・7階動物舎感染実験室(BSL3)・7階動物舎感染実験室(BSL3)前室1・2・7階動物舎感染実験室(BSL2)にブラインドボックスが有りますが適用なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A35	平面詳細図5階腸管系細菌分離室～腸管系解析室間は3方枠W1700*H2000と考えスチールt1.6・SOPと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	一方枠とします。仕様は平面詳細図記載の通りとします。

総合図 意匠図	GEN19 A44	衝突防止表示が特記仕様でステンスφ30と有りますが、サイン図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又サイン図の場合×両面組と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 リストの数量を正とします。
総合図	GEN20	特記仕様で戸当りフックが有りますが各 WC 各ブース内 1 か所・HWC1 か所設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。ただし、HWC については無しとします。
総合図	GEN19	特記仕様⑧黒板及びホワイトボードが○印ですが不明です必要寸法及び数量を御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A150・11・12	部分詳細図、低温室上部に点検扉 W600*H800 が有りますが天井点検口 450□が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A4・158	A158 図 R1 階 Y1・Y3 通手摺詳細図が有りますが、A4 図 R1 階・R2 階設備機器置場床フィンアラ部分手摺全てに適用と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又溶融垂鉛メッキ仕上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 よろしい。

意匠図	A151	着脱式手摺は溶融亜鉛メッキ仕上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A5・151	立面図で F6 バルコニー手摺（既製品）と有りますが部分詳細図のスチール製作手摺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A31・32	屋外階段手摺は溶融亜鉛メッキ仕上で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A31	屋外階段チェッカープレート部はノンスリップは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又 1 階 RC5 段部分にはステンスノスリップ（ゴム入り）必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 不要とします。
意匠図	A24	矩計図 8FDS 部が外取り出し口 SUSPL ですが W8000・SUS t 1.5HL・裏面グライト吹付 t 5 程度必要で宜しいでしょうか。御指示下さい。	W8200 とします。
意匠図	A4・23・25	R1 階・R2 階・DS 床ファインフロアの仕様を御指示下さい。	ファインフロア MN250-60 とします。

意匠図		屋上には丸環は不要で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 電気図	A33～36・157 E10	A157 部分詳細図の煙突ですが A33～36 平面詳細図は DS です又 E10 図では小荷物 EV 部分に設置していますが、A157 図を設置場所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A3・23	PH 屋上の縦樋ですが 8F 平面図はφ125、矩計図のφ100 が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	125φを正とします。
意匠図	A4	R2 階平面図のルーフドレインが縦型ですが矩計図より横引き型と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A36	屋上のオーバーフロー管の仕様を御指示下さい。	SUS50φ1 箇所とします。
意匠図	A25	縦樋で免振ピット階部分は防露巻が必要でしょうか御指示下さい。	必要とします。
意匠図	A5・17・20・33	2 階建具配置図で SD121 が 2 か所、建具表は 1 か所ですが建具表を正と考え SD121 は 1 か所で宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具配置図を正とし、2 か所とします。

意匠図 電気図	A17・20 E10	AG102 が建具表で 3 か所ですが E10 図では W2700*H3000 が建築工事とありますが建具表を正と AG102 は 3 か所で宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
意匠図 電気図	A17 E10	電気設備図 E10 で発電機室南面にガバリ W3800*H3000 建築工事と有りますが建具表には有りませんどの様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	現在建具表に示されるガバリを指すものとお考え下さい。
意匠図	A22・17・18	AW103 の数量が食い違いますが建具配置図を正と考え 6 か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A20	SD122 の仕上が DP 塗装ですが内部建具の為 SOP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A21	LSD116 のガラス PGW6.8 は PWG6.8 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A22	SDW101 の複層ガラスはフオート t 5+A6+フオート t 6 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A22	SDW102 の複層ガラスはフロント t 5+A6+フロント t 6 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A22	AW101・AW107 の複層ガラスはフロント t 6+A6+ フロント t 6 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A22	AW102～AW105・AW108・AW109 の複層ガラ スはフロント t 5+A6+フロント t 6 で宜しいでしやう か。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A22	AW106 の複層ガラスは網入磨き t 6.8+A6+フ ロント t 5 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A19・22	アルミ製建具枠見込みが建具表で 70 ですが建具表 特記事項 A アルミニウム製建具 NO8 より、AW101・ AW106 は枠見込 100 と考えて宜しいでしやう か。御指示下さい。	建具表を正とします。
意匠図	A22	AW103・AW109 の型式が突と有りますが、嵌 殺し窓と考えて宜しいでしやうか。御指示下さ い。	よろしい。
意匠図	A20	SD103・SD104 形式が片・片・フと有りますが片 面フラッシュドアで宜しいでしやうか。御指示下さ い。	よろしい。

意匠図	A20	SD114 の型式にガと有りますが、ガラリは適用なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A19・20	SD103・SD104 は PS ドアで建具表は AT 仕様記入有りませんが 19 図特記事項より AT 仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A21・155	LSD22 がインターロックと有りますが A155 図よりインターロックは適用外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A21・155	LSD112 がインターロックと有りますが A155 図より 2 か所はインターロック外と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 総合図	A33～36 GEN20	平面詳細図に窓は遮光と有りますが、建具表 AW101・AW106 のガラスフィルム貼を GEN20 特記仕様の遮光フィルム仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A33	又 1 階分子構造解析室 AW101 が窓は遮光・遮熱と有りますが仕様を御指示下さい。	遮光フィルム仕様とします。
構造図	B050	3FL フラットデスクラブの梁上スタッドはφ16 H=100 として宜しいでしょうか。御指示下さい。	B-026 図によってください。

総合図 意匠図	GEN017 A046	渡り廊下軒天アルミスパンドレルの表面処理が、特記[F・BE]と詳細図[B・2 種]で異なります。詳細図[B・2 種]を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN017 A046	特記にて、『屋外天井及びピロティ天井補強 *あり(図示)』とありますが特に図示が無いように思われます。上記軒天部の天井軽鉄下地は使用メーカーの一般的な耐風圧仕様を見込むと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、補強仕様等を御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN016 A046	渡り廊下屋根の露出断熱シート防水の参考メーカー・品番を御指示下さい。	三晃金属工業・ハイタフ EG 同等品とします。
意匠図	A046	渡り廊下屋根用デッキプレート[t1.2、H75]の耐火認定番号又は、参考メーカー・品番を御指示下さい。	UA・N 型耐火ルーフとします。
意匠図	A46	渡り廊下の堅樋は立面図より 1 か所・DP 塗装で宜しいでしょうか。御指示下さい。 又オーバーフロー管を 1 か所設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	2 か所見込むものとします。 よろしい。SUS50φ1 箇所とします。
意匠図	A146・147	外壁改修要領(2) 外壁アルミパネ部 塗装の塗り替えの指示がありますが立面図中に AL と記入	立面図中に示す範囲、ピロティ上部幕板の他、A107 図に示す風除室屋根も改修対象とします。

		の有る範囲のみとし、その他のアルミパネは既存のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A99 図ビロティ-上部幕板を除く)	
意匠図		上記質疑に関してアルミパネ部 塗装の塗り替えと有りますが 既存パネ表面は焼付塗装とし再塗装の種別は DP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A105	既存建具改修記号 カ:ブラインド・キャップ 取替 ク:コーナーピース取替について具体的な作業内容を御指示下さい。	「カ」：内蔵ブラインドの可動部（障子上部）に設置されているキャップを取り替えることを示します。 「ク」：障子タテヨコの気密材をつなぐコーナーピース材を取り替えることを示します。
意匠図	A153	既存棟カーテンウォール部 防火設備改修詳細図のカーテンウォールとは既存建具符号 ACW1 と思われませんが改修範囲が不明です。FIX+堅滑り出し窓部全てでしょうか。	範囲については、平面詳細図をご参照ください。
意匠図	A148	ACW1 ガラス押えシーリング 打ち替えに伴い熱線反射ガラスの映像調整を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	改修工事においては不要とします。
意匠図 総合図	A013、014 他 G019	天井 GB-D(T)9.5 は、防火材料:化粧 PB t 9.5 が消されているので、不燃石膏積層板 t 9.5 トリバーチン模様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

総合図	GEN17	特記仕様書に於いて、天井耐震補強は「*あり(図示)」と記載ありますが、図示が無いように思われます。 必要な場合は、範囲及び仕様を御指示下さい。	無しとします。
総合図	GEN17	特記仕様書に於いて、天井ふところが 3mを超える場合の補強は「*図示」と記載ありますが、図示が無いように思われます。仕様を御指示下さい。	振れ止め補強 C-40x20x1.6 を 25m2 内外でタテヨコバランスよく 2 段組で設置するものとします。
意匠図	A13	仕上表(共通事項)の柱壁の(27)に「LGS 間仕切り壁は、特記なき限り、LGS ボード共にスラブ底までとする。」とありますが、同図(17)には「耐火、遮音壁以外のボード類は、天井仕上面より 100mm 上まで貼る。」とあります。 LGS とボードは下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・耐火、遮音壁：LGS ボード共にスラブ底まで ・耐火、遮音壁以外の壁の LGS：スラブ底まで ・耐火、遮音壁以外の壁のボード類：天井仕上面より 100mm 上まで。	(27) を優先しスラブ底までとします。

意匠図	A13	LGS 面の柱壁 FK8 は仕上表(共通事項)で「(2-03-12:下地張りは・GB-S・FK)」と記載あり、下地張り GB-S 及び FK の何れにも○印がありません。水廻りではない為 GB-R と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A54～73	各階各室の床仕上がりレベルは内部仕上表に(FL+〇〇)と記載が無い限り FL±0 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。あわせて矩計図等も参照ください。
意匠図 構造図	A107・101 B102	2 階南廊下の床は矩計図で OA フロア(H200)と記載ありますが、平面詳細図に二重床の表示がなく、構造伏図にも床下りの表記が無い為、OA フロアは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A109、A97～99 B102	3 階平面詳細図に記載の二重床範囲と構造伏図の床下りの範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、二重床の H 寸法については下記のように読み替えるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・右下がりハッチ：H1180～140 ・右上がりハッチ：H160	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。 よろしい。

意匠図 構造図	A113 B104	6階平面詳細図に記載の二重床(H970)の範囲と構造伏図の床下り FL-960 の範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。
意匠図 構造図	A115 B105	8階平面詳細図に記載の二重床(H970)の範囲と構造伏図の床下り FL-960・FL -70 の範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。
意匠図 構造図	A116 B105	9階平面詳細図に記載の二重床(H970)の範囲と構造伏図の床下り 9FL-920 の範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。
意匠図 構造図	A117 B105	10 階平面詳細図に記載の二重床(H970)の範囲と構造伏図の床下り FL-920 FL -70 の範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。
意匠図 構造図	A118 B106	11 階平面詳細図に記載の二重床(H970)の範囲と構造伏図の床下り FL-920 ・ FL -70 の範囲が異なりますが、平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。なお、記載範囲は意匠図完成図をもととしています。

意匠図 構造図	A72・120 B106	13 階第 2 電気室の床下地は平面詳細図で二重床の表記が無く、構造伏図に於いてもスラブ下りの表記がありませんが、仕上表で二重床と記載があり、既存電気室はフリーアクセスフロア H300 と記載があるので、二重床 H300 を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図 構造図	A54～73、A103～120 B101～106	上記各項の床ベルに関する質疑が否の場合は仕上りレベル、躯体の現状レベル、二重床の高さ及びその範囲等がわかる図面を御提示下さい。	-
総合図	GEN19	床フローリングは、特記仕様書(建築 4)の内装工事で三洋工業サニタイトフローリング 同等品と記載がありますが、メーカーに確認したところサニタイトフローリングには全体厚さ t12、t15、表層厚さ t2、t3 があるようです。何れの仕様か御指示下さい。	三洋工業サンワイドフローリング釘打ち仕様 t12・表層厚さ t3 とします。
意匠図	A98・151	3 階多目的室(大)の床二重床の捨貼構造用合板の厚さは矩計図(4)で t15+t15 ですが、部分詳細図(3)より t12+t12 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。t12+t12 とします。
意匠図	A150	部分詳細図(2)に「実験室(BSL3、無菌室)納まり詳細図」が記載あり、同図面左下に「BSL3 に該当する実験室、無菌室(既存棟 12 階)に適用する」と記載がありますが、既存棟改修図面に	よろしい。

		BSL3 の文言の記載がありませんので既存棟改修に於いては 12 階無菌室のみが該当するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
意匠図	A55・80・105・127・3	1 階 X6 通の既存建具(AW3・AW3A・AW4・AW8)の上枠の高さは、既存建具表(1)より 1FL+4513 ですが、これらの建具に面する各室(入札室・打合せ室・事務室(受付)・警備員室の天井高は CH2700(職員用エントランスは CH3900)なので、同既存建具の一部が天井ふところ内になるものと思われます。矩計図(1)に記載のカテンウォールの納まりに倣い、耐火パネル t30 を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 上記と異なる場合は詳細を御指示下さい。	既存建具上端まで折上金物を設置するものとします。 St1.6 曲加工 SOP W150 とします。
意匠図	A59・97	3 階前室の床は仕上表(6)で「二重床下地 FS」と記載ありますが、矩計図(3)より二重床(H160)+OA100+TCa と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	二重床 (H160) +TCa とします。
意匠図	A58・98・132・4	3 階多目的室(大)の天井高は仕上表(5)で 3200 ですが、矩計図(4)及び改修展開図(3 階・3)より 3000(折上天井部は 3450)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。CH3000 に一部折上天井とします。

意匠図	A58・109	3 階多目的室(大)の壁は仕上表(5)で FK8.0+NS ですが、X2・3 通り RC 柱型は X1 通りに倣い W1a+FK8.0+NS と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。X1 通り同様に LGS 下地壁とします。
意匠図	A58・100・132-6	3 階ホエイ 2 の天井高は改修展開図(3 階・4)で 2700 ですが、仕上表及び矩計図(6)より 3000 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A58・100・132-2	3 階ホエイ 1(4 階吹抜部分を含む)の壁は仕上表(5)、矩計図(6)、改修展開図(3 階・1)で異なります。下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・ LGS+ボード面 : FK8.0+NS ・ 柱型コンクリート面 : 打放しのうえ EP ・ 梁型コンクリート面 : 打放しのうえ EP	LGS+ボード面 : ボードのうえ EP 柱型コンクリート面 : 打ち放しのうえ EP 梁型コンクリート面 : 打ち放しのうえ EP とします。
意匠図	A111・132-2	3 階ホエイ 1Y2～3 X4～5 のトイレ天井上部 LGS の下地材は改修展開図(3 階・1)で C-100*50*20*2.3 @450 と記載ありますが、この下地材を支持するための構造体が必要かと思われます。詳細を御指示下さい。	天井下地端部(壁側)に支持材(柱)を設置することとします。C-100*50*20*2.3 @450 とします。
意匠図	A97・98・111	4 階 X1～3、X6～7 のアルパネ屋根及びトップライト部分の下部 3 階天井 LGS を吊る為の下地の詳細を御指示下さい。	C-75x45x15x1.6@900 とします。

意匠図	A59・97	4 階北廊下の天井高は矩計図 3 で 2700 ですが仕上表より 2400 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A102	中央階段の特記なき鉄部の仕上は SOP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A104・108・170	部分詳細図(3)に記載の木製コーナー見切縁撤去改修の数量について、各階撤去平面詳細図の右下(〇〇箇所)に記載の数量と同図中に記載の〇印に一部相違がありますが、右下(〇〇箇所)に記載に拠るものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 階数 (〇〇箇所) 平面詳細図の〇印 ・ 1 階 (26 箇所) 8 ・ 3 階 (56 箇所) 52	凡例書き込み数値「(〇〇箇所)」の数値を正とします。
意匠図	A65・70・116・119・150	部分詳細図(2)の低温室詳細図に「9 階試料保管室に吊ボルト 2 か所を設置し天井補強梁 1 か所を設置」との注釈がありますが、同注釈どおり吊ボルト及び天井補強梁は 9 階試料保管室のみに適用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A65・70・116・119・150	又、仕上表で 12 階低温室にも（冷蔵ユニット）と記載あります。部分詳細図(2)の低温室詳細図のうち上記質疑の「吊ボルト及び天井補強梁」を除く他の部分についてこの詳細を適用するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	対象室は 9 階のみとします。
意匠図	A65・70・116・119・150	又、部分詳細図(2)の低温室詳細図でスラブ天端は FL-200 ですが、上記質疑の 9 階試料保管室及び 12 階低温室は平面詳細図で二重床範囲 H970 と記載あります。既存スラブ天端 FL-970 の上に FL-200 を天端とする二重床を建築工事で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	二重床 H970 とします。
意匠図	A56・105	1 階 HWC の前室仕上は一般用エントランス兼展示コーナーに倣うものとし天井高は 2400 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	H3800 とします。
意匠図	A56・105・121	1 階一般用エントランス兼展示コーナーから MWC1・WWC1・HWC 前室への踏込部分の仕上は一般用エントランス兼展示コーナーに倣うものとし天井高は 3800 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A58・109・122	3 階 HWC の前室仕上は初仕に倣うものとし天井高は 2400 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A104・105	1 階一般用エントランス兼展示コーナーの既存 AW8 の腰部ペリカバーは既存のままと考えて宜しいでしょうか。塗装替え等の改修が必要な場合は改修内容を御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A73・120	13 階 PS の仕上表が「地階～13 階」及び「13 階」の 2 種類表記がありますが、後者「13 階」を正と考えて宜しいでしょうか。 又、13 階 PS は平面詳細図で 3 か所ありますが、Y2 通りの PS のみが該当するものとし、他の PS は既存のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り。既存棟 13 階 Y2 通り PS のみを仕上表中の「13 階」の PS とします。
意匠図	A73・104～120	地階～12 階 PS は仕上表で天井のみの改修ですが、平面詳細図で 1・3・4・5・8 階の Y2 通りの PS 及び 2 階の PS・EPS は床・壁・天井を撤去、6 階の Y2 通り PS は壁撤去の表示がある為、上記質疑の「13 階」PS の仕上表の内容で、撤去部分を改修するものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。改修のある PS については同様の仕様とします。

意匠図	A73・104・105	仕上表(20)において1階～2階西階段室 東階段室の床・巾木・壁・天井・廻縁が新設となっていますが、これは、1階西階段の一部壁改修に伴う改修を示しているものとし、それ以外の部分は既設のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A73・104・105	又、上記 1 階～2 階西階段室 東階段室の仕上表の壁に「一部 GLEP」と記載ありますが、RC 柱型は打放のうえ EP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A73・104・105	仕上表(20)において地階西階段室 東階段室の床・巾木・壁・天井・廻縁が撤去となっていますが、これは、地階ではなく 1 階と考え、上記質疑の1階西階段の一部壁改修に伴う撤去を示しているものとし、	よろしい。
意匠図	A51～54・103～120	各階天井伏図に記載の改修なしの範囲と仕上表及び平面詳細図に記載の内容から想定される範囲に相違があります。天井改修の有無は下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・地下 1 階倉庫 11(旧中央監視室)・東 EV ホール・廊下を除く全て：改修なし	よろしい。 ただし、MWC・WWC・SK については左記フロアその他、2、9～12 階を除いて改修を行うものとします。

		・ 1 階西階段を除く各階東西階段：改修なし ・ 各階 PS・EPS・DS：改修なし ・ 各階空調機械室：改修なし ・ R1 階 EV 機械室：改修なし ・ 3・6・7 階 MWC・WWC・SK：改修あり	
総合図 構造図	GEN16 B101～114	特記仕様書・鉄骨工事の耐火被覆所要性能及び適用構造部位欄に既存棟が記載ありませんが、耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は施工箇所及び仕様を御指示下さい。	不要とします。
意匠図	A117	10 階平面詳細図に於いて、多目的室(小)の Y6 通り面に記載の「スクリーン仕様壁紙」は平面詳細図で既存 ECP 面に直貼の様な表現ですが、新設下地が必要な場合は仕様を御指示下さい。	LGS 壁 W1a を見込むこととします。
意匠図	A117	又、上記スクリーン仕様壁紙のメーカー・品番を御指示下さい。	東リ WVP2395 同等品とします。
意匠図		SUS 巾木は H60 t1.5 HL と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A95・120	アスベスト前処理質・大気環境実験室の腰壁について、矩計図ではボード貼(LGS)塗装新設とありますが、撤去図では撤去該当箇所ではありません。RC 立ち上がりに EP 塗替と考えて宜しい	よろしい。

		でしょうか。御指示下さい。	
意匠図	A54～ A105～120	東エレベーターホールのスチール ^ハ 裯について、既存内部仕上表では、「F」の表記で既存のままとなっていますが、改修後内部仕上表では、「a」の仕上げ新設とあります。「e」に読み替え、既存スチール ^ハ 裯面に EP 塗替と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存のままとします。
意匠図	A70・119	12 階有機分析前処理室の壁仕上げについて、W4 壁面は GB・R12.5+12.5+FK6(化粧)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB・R12.5+FK6(化粧)とします。
意匠図	A67・68・71	10 階多目的室・11 階機材室、資材室・13 階土壤廃棄物実験室の壁仕上げにおいて、GB・R12.5+12.5+FK6(化粧)の表記がありますが、W3 壁面の事と考えて宜しいでしょうか。その場合、廊下面が FK6(化粧)仕上となるため、GB・R12.5+FK6(化粧)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB・R12.5+FK6（化粧）とします。
意匠図	A69・118	11 階会議室腰壁の仕上げが不明です。GB・R12.5+12.5+EP と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A68・118	11 階執務室の壁仕上げが GB-R(12.5+9.5)+EP とありますが、平面詳細図 W1 より、GB-R12.5+12.5+EP に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A117	10 階会議室腰壁の仕上げについて、W2a(GB-R12.5+FK(化粧))とありますが、W1a(GB-R12.5+12.5+仕上)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A64・115	8 階資料室・倉庫において、W1a 壁の仕上は FK(化粧)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A119	12 階廊下の壁仕上について、PS に面する箇所は既存 RC 面補修の上、EP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A105・121	1 階 MWC1・WWC1 の柱面の仕上げについて、仕上げ表ではコンクリート打放しの上 EP とありますが、平面詳細図ではパネルのようなもので覆われています。平面詳細図を正とし、柱面の仕上を化粧 FK6.0(GL 工法)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート打ち放しのうえ EP 塗装とします。

意匠図	A077・107	建具案内図では、2 階の防災センターと宿直室間が防火区画ラインですが、平面詳細図では、宿直室と清掃員控室間が防火区画です。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具案内図を正とします。宿直室-清掃員控室間は W：一般壁とし、防災センター-宿直室・UB 間は T：耐火壁とします。
意匠図	A078・114・115	建具案内図では、7・8 階の便所・PS 部分が、防火区画ラインですが、平面詳細図では、W：一般壁・WS：一般遮音壁です。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具案内図を正とします。平面詳細図の W：一般壁⇒、T：耐火壁、WS：一般遮音壁⇒TS：耐火遮音壁とします。
総合図	GEN16	床 花崗岩 黒御影 中国産の程度は中級品と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A13	仕上表(共通事項)の柱壁(2)に FK8GL 工法(2-03-17)の下地張りは GB-S と記載ありますが、使用箇所は水廻り室以外につき GB-R と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A13	仕上表(共通事項)の柱壁(23)及び(24) は設計図中に該当する箇所はないように思われます。この項目は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A123	A-123 図の便所に小便器用手摺を各 1 か所見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。(仕上表には記載あり)	不要とします。

意匠図	A121～123	便所内のライニング面台及び、SK のライニング面台は A-149 図の手洗い器ライニングに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A121	1F の MWC の 1 面他展開図で洗面カウンター上部に H1000 の太線がありますが、化粧鏡:W350*H800 を示すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	洗面カウンターの水栓金具の取り付け部分にあるライニングを示します。
意匠図	A102	中階段の蹴込がパンチングメタルになっていますが、鉄骨 PL 面に貼ると考えて宜しいでしょうか。又、取付下地金物の仕様又は、詳細を御指示下さい。	蹴込板をパンチングメタルとします。
意匠図	A102	中階段の手摺は SOP 塗装、ノズリップは SUS 製で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A56	1F の東エレベーターホールのメールボックスは 6 か所を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A61	5F の給湯室のキッチンカウンターはニキッチンと読み替えて宜しいでしょうか。又、各階の給湯室にキッチンカウンターは不要で宜しいでしょうか。合わせて御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A51・59・111	4F の男子更衣室、女子更衣室のカテンレールの数量を御指示下さい。(平面詳細図、天井伏図にない)	無しとします。
意匠図	A51・59・111	同上で、男子更衣室、女子更衣室のカテンは別途で宜しいでしょうか。もし本工事なら仕様を御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A-118	11F の機材室と資材室にライニング W800 と化粧鏡 450*600 を 1 か所見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。(仕上表には記載あり)	壁付手洗い鏡は衛生設備工事とします。
意匠図	A98	3F の多目的室(大)のスライディングウォールの仕様が GEN-19 図の特記と A-154 図の詳細図とで違います。A-154 図の詳細図が正解で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A94・100・101	SS201、204、205、206、208 の取付下地金物の詳細を御指示下さい。	既存下地を再利用するものとします。(同じ場所に既存シャッター有)
意匠図	A111	4F X3-4 通間、会議スペース／事務室(研究企画室)間の間仕切り(WS1)の両端部(X3 通・X4 通側)はサッシの枠に突き付け(塞ぎプレートは不要)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	塞ぎプレートを設置するものとします。
意匠図	A111	同上で、各階の DS 廻り壁(W1a)もサッシの枠に突き付け(塞ぎプレートは不要)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存方立・枠に突きつけのうえシール処理とします。矩計図参照ください。

意匠図	A150	実験室(BSL3、無菌室)納まり詳細図で、パスポックスがありますが、既存棟には無いと考えて宜しいでしょうか。(平面詳細図にはない) もしあれば設置場所又は、数量を御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A150	ねずみ返し詳細図がありますが、既存棟には無いと考えて宜しいでしょうか。もしあれば設置場所(設置建具)を御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A109・150	3F の大安研窓口のカウンターは幅 D300 で、仕様は A-150 図の D-11 カウンターに倣って宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A156	白衣掛け詳細図がありますが、既存棟の設置場所又は、数量を御指示下さい。	無しとします。
意匠図	A158	既設和便器床開口閉鎖要領図で和便器の数量は 6 か所(1F 女子:1 か所 4F 女子:1 か所 3F 男女シャワー室 WC:4 か所)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A158	同上で、新設洋便器に伴う PL 開口も建築工事とする。無筋コンクリート FC=18=S15 と記載がありますが、施工場所及び、詳細図(開口の大きさ等)を御指示下さい。	無筋コンクリート強度 Fc=18,スランプ S=15 を示します。また、PL 開口は本工事では不要とします。

意匠図	A105 他	既存棟の平面詳細図で「コーナガード」の表記がありませんが、無いと考えるて宜しいでしょうか。もしあれば高さ(H 寸法)及び、設置場所又は、数量を御指示下さい。	既存棟には該当しないものとします。
総合図	GEN20	既存棟及び、増築棟に定礎及び、定礎箱は不要で宜しいでしょうか。御指示下さい。	増築棟に各 1 つ見込むこととします。仕様は GEN020 図参照ください。
意匠図	A51～53	ブラインドボックスの新設は天井伏図で B と記載の有る部分のみで宜しいでしょうか。御指示下さい。(仕上表と一部食い違っている)、もし違うなら施工範囲を御指示下さい。	よろしい。ただし、13 階については X3、X6 通り沿いに新設するものとします。
意匠図	A51～53	同上で、ブラインドボックスの新設は StPL-1.6 曲げ加工 W150*H160 糸巾 560 SOP 塗で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A51～53	ブラインドボックスの既存は天井伏図で 既存 と記載の有る部分のみで宜しいでしょうか。御指示下さい。(仕上表と一部食い違っている)、もし違うなら施工範囲を御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A73	仕上表で西階段室、東階段室は既存のままになっていますが、鉄部 OP(既存)も塗替えなしで宜しいでしょうか。御指示下さい。もし塗替えが必要なら詳細を御指示下さい。	よろしい。

総合図	GEN19	特記仕様書で黒板及びホワイトボードがありますが、既存棟には無いと考えて宜しいでしょうか。もしあれば仕様及び、設置場所を御指示下さい。	よろしい。
総合図 意匠図	GEN19 A145	衝突防止の仕様が、特記仕様書とサイン図とで違っています。サイン図が正解で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN19	特記仕様書でカーテンがありますが、既存棟には無いと考えて宜しいでしょうか。もしあれば仕様及び、設置場所を御指示下さい。	11 階の男女更衣室に見込むものとします。 仕様は特記仕様書によるものとします。
総合図	GEN20	特記仕様書で遮光カーテンがありますが、既存棟には無いと考えて宜しいでしょうか。もしあれば仕様及び、設置場所を御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A132-4・154	スライディングウォールの天井裏の間仕切りの仕様が、132-4 図と 154 図とで違っています。154 図が正解で宜しいでしょうか。御指示下さい。	132-4 図を正とします。GB-Rt12.5 2 枚張り両面、グラスウール充填 t 50 24kg とします。
意匠図	A51・109・111	下記の仕様又は、メーカー品番を御指示下さい。 ・ 4・11F 男女更衣室：カーテンレール ・ 3F 多目的室(大)：ブラインド BOX ・ 各室：新設のブラインドボックス	カーテンレール：アルミシングル角型 ブラインドボックス：StPL-1.6 曲げ加工 W150*H160 糸巾 560 SOP 塗（既存、新設とも）とします。

意匠図	A141・144	サインリストで室名サイン(大)の 3F の数量が 4 か所になっていますが、サイン案内図では記載がありません。サインリストを正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A141・144	サインリストで衝突防止サインの 1F の数量が 24 か所になっていますが、サイン案内図では 23 か所になっています。サインリストを正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A141～144	サインリストで危険物標識：5 か所、火元責任者表示：187 か所ありますが、サイン案内図には記載がありません。サインリストを正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	リストを正とします。
意匠図	A141～145	サインリストで緊急シャワー表示：0 か所、代替進入口表示：0 か所になっていますが、不要で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A143・144	01 館名表示は本工事、数量：1 か所で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A144	I-2、I-4 のサインには RC 基礎がありますが、風除室の石張りは RC 基礎部分のみ撤去復旧(既存再利用)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A137・139・140	EVピットの点検用タラップは既存のまま(新設なし)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A96・97・100	4・5 階の吹き抜け部に面する壁に既存手摺 SUSφ34 t 3 (3 段) がありますが、全て既存のままで宜しいでしょうか。もし撤去新設なら、仕様、取付方法及び、施工範囲を御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A101	2 階の吹き抜け部に面する壁に既存手摺 SUS φ34 t 3 (3 段) がありますが、全て既存のままで宜しいでしょうか。もし撤去新設なら、仕様、取付方法及び、施工範囲を御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A-191～197	什器の数量が、リストと平面詳細図とで違う場合は、全て什器リストが正解で宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A-148-4・148-5	非常用 EV 部のドレインはφ100 が 2 か所で宜しいでしょうか。御指示下さい。(148-4 図と 148-5 図とで位置と径が違っている)	ドレインは 2 か所です。(A148-4 図では竖樋のみの表現、屋根がひな壇状に 2 段になっています)
意匠図	A-148-5	既存ファインフロアの撤去、復旧の範囲は A148-5 図の斜め線の見付け面積(≒263 m ²)で宜しいでしょうか。御指示下さい。	A148-5 図の凡例の範囲とします。

総合図	GEN-20	特記仕様書に壁点検口(カ工業:ウォールハッチSHA60-60)の記載がありますが、既存棟の数量を御指示下さい。	既存棟には該当しないものとします。
総合図	GEN-20	視覚障害者用誘導シートの既存棟(エントランス・中階段・EVホール)の仕様を御指示下さい。	既存棟についてはGEN019の仕様によるものとします。
意匠図	A077～079 A093	LSD202が建具表では、16か所と記入ありますが、建具配置図では、15か所です。 建具配置図(15か所)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
意匠図	A077・094	SW202が建具表では、6か所ですが、建具配置図では、7か所です。 建具配置図(7か所)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具配置図を正とします。
意匠図	A077・094	3階建具配置図にSW201が、大安研事務室と東エレベーターホールに記入ありますが、どちらも同じ部分を示すと考え、3階は1か所で、SW201は合計2か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	合計3か所とします。
意匠図	A077・083	3階：空調機械室の建具が、新設か移設が必要と思いますが、既存SD1と同じ建具を新設で計上でSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

		御指示下さい。	
意匠図	A078	8 階：電位差滴定室～溶出試験室間の建具符号に記入がありません、LSD201 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A077・078	4～7 階の便所が新設（間仕切撤去・新設）ですが、建具符号がありません、4～6 階は、LSD203：2 か所、LSD205：1 か所、7 階は、LDS212：2 か所、LDS213：1 か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A077・078	3～8 階の便所横の PS（Y2 通）の建具・間仕切も新設と考え、3～6 階は、SD210：2 か所、7・8 階は、SD219：2 か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A077・078	3～6 階の E V（3）の横の DS（Y5 通）の建具も新設と考え SD210：2 か所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	3 階はそのまま、4～6 階は新設とします。各フロア SD210x2 か所を見込むこととします。
意匠図	A092・094	SD208 の耐熱強化ガラス（特定防火設備）にガラスフィルム貼と記入ありますが、SD207・222・SW201・202 の耐熱強化ガラスには記入ありません不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。

		い。	
意匠図	A094	LSD227 のガラス PSG6.8 と記入ありますが、PWG6.8 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みの通り。
構造図	B051	ゴミ庫・ボンベ庫 柱リストの共通事項に屋外露出となる部材は溶融亜鉛メッキを施すものする。とありますが、屋外露出部はありません。溶融亜鉛メッキは該当しないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図 意匠図	B051 A001、159	ゴミ庫・ボンベ庫 B051 図に 1FL レベルは意匠図による。とありますが、意匠図にレベルの記載がありません。設計 GL 又は TP からの 1FL レベルを御指示下さい。	1FL=設計 GL-0.245 とします。
意匠図	A159	ゴミ庫・ボンベ庫 土間コンクリート下に防湿シートが必要と考えて宜しいでしょうか。又、断熱は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
構造図	B051	ゴミ庫・ボンベ庫 土間コンクリートについて、1FL より下と同じ Fc24,S15 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、構造体強度補正(S)は適用しないと考えて宜	Fc21,S15 としてください。 よろしい。

		しいでしょうか。御指示下さい。	
構造図	B051	ゴミ庫・ポンペ庫 土間コンクリート以外のコンクリートについて、構造体強度補正(S)を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A159	ゴミ庫に境界はライン引きと記入ありますが、範囲は、図示の縦部分のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A159	上記、ライン引きは、トラフィックペイント W150 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
意匠図	A001、A160	公用車車庫 仕上がり GL のレベルが不明です。設計 GL 又は TP からの仕上がり GL のレベルを御指示下さい。	図中 GL=設計 GL-0.397 とします。
意匠図	A160	公用車車庫 コンクリートについて、設計基準強度 18N/mm ² 以上とありますが、スラブは 15cm と考えて宜しいでしょうか。 又、構造体強度補正(S)は適用しないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。 よろしい。
意匠図	A160	公用車車庫 土間コンクリートの配筋が不明です。B051 図のゴミ庫・ポンペ庫と土間コンクリートに倣うと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

意匠図	A-159	断面図で Ya2 通の左側に SUS アンゲルの記載がありますが、仕様及び、施工範囲を御指示下さい。	出入口部の見切りアンゲルを示します。
意匠図	A-164	市道舗装仕様の図がありますが、施工場所を御指示下さい。	A162 図に示す、西側道路の撤去復旧範囲が該当します。
意匠図	A-162	柵番号 6 : トラップマンホール及び、柵番号 7 : 0 号マンホールの形状と柵高さの記載がありません。それぞれの形状、柵高さを御指示下さい。	トラップマンホールは(9-16-3)、0 号マンホールは A164 図を参照ください。なお、柵高さは柵番号 6 : 0.780、柵番号 7 : 0.760 とします。
意匠図	A-161・163	北側道路境界の道路側溝は→部分(L=17m)撤去し、V 型側溝にやり替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(会所は既存のまま)	よろしい。
意匠図	A-161・163	西側道路境界の道路側溝は→部分(L=65m)撤去し、U 型側溝にやり替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(会所は既存のまま)	よろしい。
意匠図	A-161・163	U 字側溝の詳細図がありますが、A-161 図にはありません。該当なしで宜しいでしょうか。もしあれば、施工範囲を御指示下さい。	既存棟南側部分に新設とします。
意匠図	A-161	既存棟南側のビロティの独立柱外側の排水溝は既存のままで宜しいでしょうか。御指示下さい。	撤去とします。仕様は A180-2 図「U 型側溝（既存棟南側）」参照ください。

意匠図	A-164	街渠ます(大阪市 1 型集水桝)の図がありますが、施工場所を御指示下さい。	A162 図に示す、西側道路沿いの撤去桝仕様を示します。
意匠図	A-164	メッシュフェンス詳細図で UN-A2000 になっていますが、UN-A1800 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-161 図では H1800 となっている)	UN-A2000 とします。
意匠図	A-161・164	植え込みの客土は H300 で宜しいでしょうか。御指示下さい。	A164 のとおりとします。
総合図	GEN-20	特記仕様で芝張りに○がはいつていますが、施工場所はなしで宜しいでしょうか。御指示下さい。(A-161 図にはない)	よろしい。
意匠図	A-166	サイン図でスの館銘板の基礎の詳細を御指示下さい。	既存サインの表示面のみ取り替えとします。
意匠図	A-166	サイン図でセの館銘板の基礎の詳細を御指示下さい。	既存サインの表示面のみ取り替えとします。
意匠図	A-181	外構撤去案内図で※既存棟周辺の残置される排水経路上のマンホール蓋(化粧フタ・ILB 用)についてはフタの付け替えを行う事と記載がありますが、A-180-3 図の 6 か所のみで宜しいでしょうか。	よろしい。

		御指示下さい。	
意匠図	A013	区分 外部詳細 くつ洗い流しの腰壁部分の仕上は打放し補修素地として宜しいでしょうか。御指示下さい。 (8-22-1) 図には表面仕上の指定がありません。	よろしい。
総合図	GEN027	解体工事・既存棟改修工事の撤去工事で、アスベスト処理は図示と記入ありますが図示がありません、該当材料は無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	無しとします。
総合図		上記質疑において該当材料がある場合は、内容を御指示下さい。	-
総合図	GEN16	特記仕様書 8 コンクリートブロック ALC パネル 押出し成型セメント板工事に於いて 2 コンクリートブロック帳壁及び塀に適用の○印が記載ありますが、設計図中に該当する箇所はないように思われます。この項目は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。

総合図 意匠図	GEN16 A16・58・59・73	特記仕様書 9・防水工事 5 塗膜防水に於いて、 X-2 の施工箇所に「PS」と記載ありますが、仕 上表より PS は防塵塗床とし、「PS」の X-2 は 該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下 さい。	よろしい。
総合図	GEN16	特記仕様書 10 石工事・4 床及び階段の石張りに 於いて、「外部および水廻りの裏面処理は行 う。」と記載があり、適用の○印が記載ありま すが、外部および水廻りに石張りは無いよう に思われます。この項目は該当なしと考えて宜 しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN16	特記仕様書 10 石工事・6 白華などの防止に於 いて、白華防止に関する記述がありますが、 適用の○印が記載ありますが、上記質疑と 同様に外部および水廻りに石張りは無いよう に思われます。この項目は該当なしと考えて宜 しいでしょうか。御指示下さい。	既存棟改修部の御影石に見込むこととします。
総合図	GEN17	特記仕様書 11・タイル工事 4 陶磁器質タイル型 枠先付工法に適用の○印が記載ありますが、 設計図中に該当する箇所はないように思われ ます。この項目は該当なしと考えて宜しいで しょうか。御指示下さい。	よろしい。

総合図	GEN18	特記仕様書 15・左官工事 4 セルフベリング材塗りに適用の○印が記載ありますが、設計図中に該当する箇所はないように思われます。この項目は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
総合図	GEN19	特記仕様書 19・内装工事 3 ビニル床タイル張りに適用の○印が記載ありますが、設計図中に該当する箇所はないように思われます。この項目は該当なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしい。
補足説明書	一般事項（15）	下記費用について検査費用を御教示ください。 ① 中間検査 ② 仮使用認定 ③ 完了検査 ④ 窒素ガス消火設備の評価及び危険物貯蔵所の検査	①中間検査 （増築棟 2 工区 2 回分） ￥304,000-x4 （渡り廊下棟 2 回分） ￥42,000-x2 ②仮使用認定 ￥580,000- （昇降機 6 台+小荷物専用昇降機 1 台） ¥26,000-x6 + ¥20,000- ③完了検査 ￥484,000- （昇降機 6 台+小荷物専用昇降機 1 台） ¥26,000-x6 + ¥20,000- ④窒素ガス消火設備の評価（3 箇所分） ¥800,000-x3 危険物貯蔵所の検査

			貯蔵所 2 箇所 ￥10,000-x2 地下タンク ￥13,000- 一般取扱所 ￥19,500- (タンクの完成検査前検査費用等除く) なお、①～③は指定確認検査機関(日本 ERI)の規定より、④は日本消防設備安全センターおよび大阪市消防局の規定より、範囲等を想定して算出しています。必要に応じて費用を見込むこと。 また、貯蔵所には、屋内貯蔵所危険物(第四類)保管リストに記載の危険物を保管する予定です。必要に応じ、消火実験を行うこと。
補足説明書	一般事項 (11) ①	「工場生産品については、令和 2 年 12 月 1 日以前に行うことが出来る」と記載がございますが、建築確認申請済証の取得予定日を御教示ください。 (鋼管(杭)、鉄骨、免震装置、PCa 等の発注可能日)	令和 2 年 4 月を予定しています。
仮設計画図	A-178	参考仮設計画において、増築棟新設杭の施工地盤が、T.P-2.8 となっていますが、孔壁崩壊防止の為、安定液(孔内水位)の高さを、地下水位より高く保つ必要があることから、T.P2.2 程度まで埋戻し施工する必要があります。その為、	提示ステップ図は参考図のため、現地状況を確認のうえ適切な工法により安全に工事を進めることとします。

		一度埋戻し、杭施工後に掘削を行う計画としてよろしいでしょうか。 また、上記に係る工期については、御協議頂けるものと考えて宜しいでしょうか。	
電気 撤去図	E1044	既存棟において、重量機器の既設キュービクル及び変圧器が1 3 階にあります。搬出搬入開口が無い為、既設撤去搬出及び新設キュービクル搬入計画をどのように考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	分割撤去搬入とします。
電気 撤去図	E1035 E526	既存棟において、重量機器の既設キュービクル及び変圧器が地下1 階にあります。撤去搬出は電気室上部あたりにマシンハッチがあると考えて宜しいでしょうか。又、無い場合、既設キュービクル搬出計画をどのように考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	分割撤去搬入とします。
電気 増築棟図	E 129	設計図で避雷針設備は間接法となっておりますが、柱の構造がP C 造なので接続端子が取付できません。ピット柱の中に導線を埋め込みジョイントを経て突針に接続する直接法と考えてよろしいでしょうか。御指示願います。	図面に記載の通りとする。 (PC 部分については PC 作成時に協議し、決定する。)

機械設備	GEN-025	「エチレンオキサイト排気ダクトは VP とする」とすると記載しておりますが、どの系統か不明です。 機器番号あるいは系統をお教え下さい。	エチレンオキサイト排気ダクトは不要とする。
GEN 総合図	特記 015 特記 023	特殊空調設備内のドラフトチャンバー類,実験家具,実験器具の工事は本工事となっておりますが、工事区分では実験機器設備となっております。 実験機器設備工事として宜しいでしょうか。	本工事（一括発注）とする。（本工事の機器類は機器什器類リストによる。）
給排水衛生設備図・意匠図	増築棟配置図 003・既存棟 1 階平面図 106・既存埋設管撤去図 180-3	配置図・既設図・既存埋設管撤去図に記載無き既設量水器 150A 以降 2 次側既設給水管の撤去は別途工事として宜しいでしょうか。	量水器 150A 以降 2 次側撤去も本工事とする。
給排水衛生設備図	C101	PWU-K1 加圧給水ポンプの吐出量について 60L/min ですが、既設の揚水量と比べて非常に少ないと思われます。増築棟と同様に 600L/min として宜しいでしょうか。	60L/min で水道局と協議済みです。揚水管は 80A→40A に変更とします。（付帯するバルブ、フレキなども同様）
給排水衛生設備図	C101 C103	屋上 雑用水系統に加圧給水ポンプが見込まれていますが、上水系統には加圧給水ポンプがありません。少なくとも連結型瞬間湯沸器には入口側で 0.2MPa 以上の水圧が必要になると思われます。ご指示願います。	上水系統に下記加圧ポンプユニットを設置すること。 PWU-k3 100L/min×0.3Mpa 3Φ200V0.75kW×2 台並列自動交互運転 推定末端圧力一定型 その他付属品は PWU-k2 同等とする。 供給先は瞬間湯沸器とする。

給排水衛生設備図	C103	給水系、給湯系共低層階では圧力が高過ぎで使用に支障が出る恐れがあります。減圧弁及びゾーニング等の必要はないのでしょうか。ご指示願います。	上水、雑用水とも 6 階 PS 内で減圧弁を設置すること。 給湯は 1~6 階までの各 PS 内に減圧弁を設置すること。 1~6 階トイレについては給湯還管は削除とする。
給排水衛生設備図	C101	排水ポンプで、水中渦巻ポンプと記載されていますが、排水水中ポンプと読替え、汚水系はバルブボックス型として宜しいでしょうか。	よろしい。
給排水衛生設備図	C101	排水ポンプの口径について、汚水ポンプは既設と同様に 80A(図面 50A)として宜しいでしょうか。	よろしい。
給排水衛生設備図	C003	量水器 150A を 75A に変更していますが、大阪市の 75A 量水器の許容量は 666L/min だと思われます。大阪市水道局との協議は済んでいるのでしょうか。	協議済みです。
給排水衛生設備図	C104	排水切換え弁について、GV と記載されていますが、ナイフゲート弁(手動)として宜しいでしょうか。	よろしい。
給排水衛生設備図	A198	煮沸槽の水栓が衛生工事ですが、型番、個数をご指示ください。	増築棟 5 階洗浄室に設置する煮沸槽、6 槽連結シンク、超音波洗浄槽にかかわる、配管類、水栓金具類、排水口金具類、加温上記配管、弁類は給排水衛生設備工事とする。煮沸槽はバルブ制御で配管から直出しのため、水栓はありません。

			なお、水栓の個数は図示通りとし、品番は下記同等品以上としてください。 システムシンク カクダイ製 117-124 超音波洗浄槽 TOTO 製 T42C
給排水衛生設備図	C102 A201-A203	C102 衛生器具表下部注記で「実験台、実験機器に付随している水栓類は建築図参照」と記載されています。例えば A203 G-6 ステンレス流し台に水栓がありますが、品番が不明です。建築図に図示の実験台等に付随する水栓は別途(建築工事)として宜しいでしょうか。	実験機器設備内で見込むこと。 なお、参考品番として 3 方化学水栓は JANIS D42C1 同等品以上、卓上シングルレバー水栓は三栄水栓 D61A3 同等品以上とする。
給排水衛生設備図	C102	衛生器具表のハットドレイヤ - (将来対応)は別途として宜しいでしょうか。	よろしい。
給排水衛生設備図	GEN-024	消火器の設置計画と申請手続きは本工事とする旨の記載がありますが、消火器本体は全て、別途工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
給排水衛生設備図	GEN-024	実験排水の通気管の材質について記載がありません。一般排水と同じ耐火二層管と考えて宜しいでしょうか。	実験排水用排水管より分岐以降 1 m は GRP でみてください。1 m 以降は一般排水と同じ仕様で結構です。
給排水衛生設備図	C-008~010	蒸気配管について ①管末トラップの記載がありません。必要ヶ所及び放流先について、ご指示下さい。	① 必要とする。最寄りの排水配管接続とする。

		②蒸気配管に減圧弁が取付けられていません。 必要ないと考えて宜しいでしょうか。 ③ボイラー排水について、ルフトレインへ放流となっていますが、温度希釈設備は不要と考えて宜しいでしょうか。	② 必要とする。 ③ 免震ピット内、高温排水槽へ放流とする。（免震継手共）
空気調和設備図	D108,141	機器表 送風機 FE-k501-5 の機器番号が 5 階ダクト外平面図では FE-K501-6 と明記されております。平面図通り FE-K501-6 として宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D108,141	5 階ダクト外平面図 給湯室に FE-K501-5 にストレートシロッコファンが明記されておりますが、機器表にはございません。機器の仕様を御指示ください。	FE-k 501-2～6 までは下記とする。 なお、全て屋内天吊型、SSF とする。 FE-k501-2 630 m³/h × 100Pa（空調機械室） FE-k501-3 90 m³/h × 100Pa（サーバー室） FE-k501-4 460 m³/h × 200Pa（WC 系統） FE-k501-5 200 m³/h × 200Pa（給湯室） FE-k501-9 170 m³/h × 200Pa（EPS）
空気調和設備図	D146～154	排煙ダクト外の立ダクトは既設利用ですが、ダクト清掃は不要として宜しいでしょうか。	既設利用とします。ダクト清掃は見込んでください。
空気調和設備図	D146,154	排煙設備系統図では排煙ファンは既設利用と見受けられますが、PH1 階ダクト外平面図では FSM-R-1 が実線となっております。系統図通り既設利	排煙ファンは既設利用とする。

		用として宜しいでしょうか。										
空気調和設備 図	D146,147,154	既設利用する排煙ファンのオーバーホールは別途として 宜しいでしょうか。オーバーホールが必要な場合は作 業内容を御指示ください。	オーバーホールは必要です。 V ベルト及び軸受けの交換を見込んでください。									
空気調和設備 図	D126	既存棟の研り工事は 1 階空調配管平面図のみ 3 ×8 か所と明記されておりますが、それ以外の 箇所は明記されておられません。図面記載箇所の み研り工事は本工事とし、他の個所は研り工 事・レントゲン検査は建築工事、穴埋め工事のみ本 工事として宜しいでしょうか。	床及び RC 壁貫通部については、他の箇所についても研 り工事・レントゲン検査、穴埋めとも本工事（一括発注） とします。									
空気調和設備 図	D112, 113 D114, 115	機器の台数及び型式が機器表と平面図で下記 の通り異なります。平面図を正として宜しいで しょうか。 <table><tr><td></td><td>機器表</td><td>平面図</td></tr><tr><td>CAV-k1001-7</td><td>4 台</td><td>1 台</td></tr><tr><td>CAV-k1001-8</td><td>4 台</td><td>1 台</td></tr></table>		機器表	平面図	CAV-k1001-7	4 台	1 台	CAV-k1001-8	4 台	1 台	よろしい。
	機器表	平面図										
CAV-k1001-7	4 台	1 台										
CAV-k1001-8	4 台	1 台										
空気調和設備 図	D117	フィルターユニット FU-k1201, k1202, k1301 のサイドア クセス型とはメンテナンス時にユニットのサイドからフィルターを 横引き抜きするタイプとして宜しいでしょうか。	よろしい。									

空気調和設備 図	D103,139	ファンコイルユニット天吊インペイ型の台数と 1 階ダクト外平面図の台数が下記の通り異なります。平面図を正として宜しいでしょうか。 <table><thead><tr><th></th><th>機器表</th><th>平面図</th></tr></thead><tbody><tr><td>FCU-CID-3</td><td>1 台</td><td>0 台</td></tr><tr><td>FCU-CID-6</td><td>5 台</td><td>7 台</td></tr></tbody></table>		機器表	平面図	FCU-CID-3	1 台	0 台	FCU-CID-6	5 台	7 台	1 階については以下を正とする。 FCU-FRL-8 8 台 FCU-CID-3 0 台 FCU-CID-6 6 台 FCU-CID-8 2 台 FCU-CK-2-3 3 台 FCU-CK-2-6 0 台 FCU-CK-2-8 0 台 FCU-FRL-8 8 台 D-126 空調配管図において下記に変更とする。 西エレベーターホール FCU-CID-3→FCU-CK-2-3 打合せ室 FCU-CK-2-6→FCU-CID-6 事務室（受付） FCU-CK-2-8→FCU-CID-8 D139 空調ダクト図において下記に変更とする。 入札室 FCU-CID-6→FCU-CID-8
	機器表	平面図										
FCU-CID-3	1 台	0 台										
FCU-CID-6	5 台	7 台										
空気調和設備 図	D113, 144	11 階ダクト外平面図 会議室に CAV-k1101-3, 41 台ずつ明記されておりますが、機器表にはございません。各風量 450m³/h とし て御見積しても宜しいでしょうか。	CAV-k1101-3~VAV-k1101-15 は下記とする。 CAV-k 1101-3、4 執務室（環科研 C 所長）→会議室 CAV-k 1101-5,6 風量 450 m³/h →600 m³/h 試薬保管庫→執務室（理科研 C 所長） CAV-k 1101-5~13 の系統名は CAV-k 1101-7~15 に読み替えてください。 -									

空気調和設備 図	GEN-025 D-027 D-132	特記仕様書の機器設備の欄に、エアコン室外機、クーラーは SUS ドレンパンを付属すると記載がありますが、平面図では、ドレン配管が記載されておられません。	各機器のドレン管は最寄り側溝まで配管のこと。
空気調和設備 図	GEN-025	防振吊支持の配管について、冷温水、冷水、温水配管全てと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	GEN-025	亜鉛鉄板製ダクト以外に使用するダクトは防食仕様とする旨の記載がありますが、材質をダクトと合やすのみと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-001 D-027	冷却塔、室外機架台が本工事になっていますが、部材が不明です。御指示ください。	鉄骨架台とすること。
空気調和設備 図	D-001 D-022 D-027	ポンプについて、 ①PCH-1 の台数が 2 台となっていますが、平面図では 4 台記載されています。4 台と考えて宜しいでしょうか。 ②機器表に PCH-2 冷温水 2 次ポンプ が記載されていますが、平面図にはありません。PH-1 温水 2 次ポンプ と考えて宜しいでしょうか。 ③冷水 2 次ポンプ の水量が、170L/m となっていますが、少なすぎると思われます。他のポンプ と同じ 1,820L/m と考えて宜しいでしょうか。	① よろしい。 ② よろしい。 ③ よろしい。

空気調和設備 図	D-001 D-022 D-027	空気熱源ヒートポンプユニットが機器表に記載されていますが、平面図にはありません。無いものと考えて宜しいでしょうか。	機器及び設置費用を見込んでおいてください。
空気調和設備 図	D-002	R1F 機器置場設置の空調機について、鉄骨架台は不要と考えて宜しいでしょうか。	鉄骨架台は必要です。
空気調和設備 図	D-003 D-024	ACP-1-5R2 の台数について、機器表では 2 台となっていますが、平面図では 1 台となっています。1 台と考えて宜しいでしょうか。	機器表、図面とも 3 台となっております。
空気調和設備 図	D-004	ACP-4-1 の室外機的能力について、28.0kw と記載されていますが、不足していると思われます。67.0kw と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-008~012 D-107~110	送風機について ①SSF(耐熱型)の送風機について、厨房用と考えて宜しいでしょうか。その場合消音ボックスは付きませんが宜しいでしょうか。 ②ケミカル表記がある送風機の材質は、FRP 製と考えて宜しいでしょうか。 ③SSF(耐熱・耐湿型)送風機について、厨房用と考えて宜しいでしょうか。その場合消音ボックスは付きませんが宜しいでしょうか。	① よろしい。 ② よろしい。 ③ よろしい。

空気調和設備 図	D-013~014 D-111~113	VAVCAV について ①塩ビコーティングの仕様がありますが、製作できるところに限られますので、エポキシ樹脂塗装として宜しいでしょうか。 ②耐湿型の仕様がありますが、具体的には SUS 製と考えて宜しいでしょうか。	① よろしい。塩ビコーティング又はエポキシ樹脂塗装とする。 ② よろしい。
空気調和設備 図	D-017	フィルターユニットについて ①フィルターユニットのケーシングについて、ガルバニウム鋼板製・ポリエステル樹脂焼付塗装となっていますが、対応できるメーカーがありません。鋼板製・ポリエステル樹脂焼付塗装もしくは、ガルバニウム鋼板製・樹脂塗装で対応したいのですが、宜しいでしょうか。 ②FU-101 について、ダイクシン対応となっていますが、フィルターのみでダイクシンの除去は不可と考えられますが、記載のフィルターを設置するのみとなりますが、宜しいでしょうか。 ③FU-102,FU-301 について、活性炭フィルターを設置するようになっていますが、排気の仕様が記載されていません。ホマリン程度と考えて宜しいでしょうか。	① 鋼板製・ポリエステル樹脂焼付塗装とする。 ② 機器表通りとする。 ③ FU-102 は GC/MS のロータリーポンプ及びパージガス用とする。 FU-301 は有機溶剤とする。

空 気 調 和 設 備 図	D-027 F-011	増築棟空調配管図と増築棟特殊空調配管図で、 配管取り合いの整合性が取れていませんが、 D-027 を正として宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-051 D-183	パッケージ渡り配線工事について、既存棟・増築棟 共に計装図表記と平面図表記が相違がありま す。計装図表記を正として宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-117	FU-k1202 について、活性炭フィルターを設置するよ うになっていますが、排気の仕様が記載されて いません。 オマリン程度と考えると宜しいでしょうか。	有機溶剤とする。
空 気 調 和 設 備 図	D-132 F-107	既存棟空調配管図と既存棟特殊空調配管図で、 配管取り合いの整合性が取れていませんが、 D-132 を正として宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-024	冷水・温水配管について、増築棟と渡り廊下の 接続 部分に EXP.J(D)が 2 個ずつ取付けられていま すが、 免振継手としなくても宜しいでしょうか。	免震継手とする。
空 気 調 和 設 備 図	GEN-023 D-001~012 D-101~110	機械設備工事で見込む機器のコンセント対応 は、機器リストに記載されているファンコイル のみと考えて宜しいでしょうか。	ファンコイル以外にパッケージ室内機、全熱交換器、送 風機とものとしてください。

空気調和設備
図

D-017
D-117

空調機のチャンバーリストが記載ありません。寸法を
ご指示下さい。

下記参照ください。
増築棟

ACUチャンバーBOXリスト										※全てGW50(内貼とする)	
番号	区分	風量 (m ³ /s)	キャンパス継手寸法 (mm)			数量	BOX寸法 (mm)			数量	備 考
			W	D	H		W	D	H		
ACU-101	SOA	32, 120	800	200	800	1	1, 600	800	1000	1	
	OA	32, 120	2, 750	200	1, 750	1	—	—	—	0	
ACU-102	SOA	1, 930	200	200	350	1	1, 400	400	500	1	
	OA	1, 930	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-301	SOA	12, 140	450	200	700	1	1, 400	400	500	1	
	OA	12, 140	1800	200	1100	1	—	—	—	0	
ACU-302	SOA	10, 190	500	200	550	1	1, 400	400	500	1	
	OA	10, 190	1550	200	1050	1	—	—	—	0	
ACU-303	SOA	17, 160	450	200	700	1	500	300	500	1	
	OA	17, 160	1950	200	1200	1	—	—	—	0	
ACU-304	SOA	7, 150	400	200	550	1	500	300	500	1	
	OA	7, 150	1300	200	950	1	—	—	—	0	
ACU-401	SOA	36, 370	800	200	800	1	500	300	500	1	
	OA	36, 370	2750	200	1750	1	—	—	—	0	
ACU-501	SOA	7, 850	400	200	550	1	1, 050	900	950	1	
	OA	7, 850	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-502	SOA	10, 020	450	200	550	1	1, 100	900	950	1	
	OA	10, 020	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-503	SOA	8, 070	370	200	550	1	1, 050	900	950	1	
	OA	8, 070	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-601	SOA	2, 630	250	200	350	1	900	700	750	1	
	OA	2, 630	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-602	SOA	7, 230	400	200	550	1	950	950	950	1	
	OA	7, 230	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-603	SOA	8, 240	400	200	550	1	1, 000	1, 000	950	1	
	OA	8, 240	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-604	SOA	6, 450	350	200	550	1	1, 000	1, 000	950	1	
	OA	6, 450	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-701	SOA	3, 160	250	200	350	1	850	850	750	1	
	OA	3, 160	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-702	SOA	4, 170	250	200	350	1	850	850	750	1	
	OA	4, 170	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-703	SOA	3, 190	250	200	350	1	850	850	750	1	
	OA	3, 190	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-704	SOA	830	200	200	350	1	700	700	750	1	
	OA	830	—	—	—	0	—	—	—	0	
ACU-801	SOA	2, 190	200	200	350	1	750	750	750	1	
	OA	2, 190	1, 000	200	700	1	1, 300	500	1, 100	1	

既存棟

ACUチャンバーBOXリスト						※全てGWS0t内貼とする					
番号	区分	風量 (m³)	キャンパス標準寸法 (mm)			数量	BOX寸法 (mm)			数量	備 考
			W	D	H		W	D	H		
ACU-k101	SOA	1440	300	200	350	1	700	700	650	1	
	RA	1440	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k102	SOA	2270	300	200	350	1	800	700	700	1	
	RA	2270	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k103	SOA	720	300	200	350	1	650	650	650	1	
	RA	720	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k201	SOA	2670	300	200	350	1	800	750	700	1	
	RA	2670	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k301	SOA	6810	350	200	550	1	1,050	850	850	1	
	OA	6810	1,300	200	950	1	—	—	—	0	
ACU-k302	SOA	5130	350	200	400	1	1,000	800	700	1	
	OA	5130	1,100	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k401	SOA	4680	350	200	400	1	850	850	800	1	
	OA	4680	1,100	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k501	SOA	3300	300	200	350	1	900	750	750	1	
	OA	3300	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k601	SOA	4130	600	200	350	1	950	750	750	1	
	OA	4130	950	200	800	1	—	—	—	0	
ACU-k701	SOA	4130	600	200	350	1	950	750	750	1	
	OA	4130	950	200	800	1	—	—	—	0	
ACU-k801	SOA	4270	350	200	400	1	950	800	800	1	
	OA	4270	1,100	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k802	SOA	14410	400	200	700	1	1,300	1,000	1,000	1	
	OA	14410	1,950	200	1,100	1	—	—	—	0	
ACU-k901	SOA	10980	400	200	550	1	1,300	850	950	1	
	OA	10980	1,550	200	1,050	1	—	—	—	0	
ACU-k1001	SOA	4560	350	200	400	1	950	800	800	1	
	OA	4560	1,100	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k1002	SOA	6960	450	200	550	1	1,050	850	950	1	
	OA	6960	1,300	200	950	1	—	—	—	0	
ACU-k1101	SOA	3870	350	200	400	1	950	800	800	1	
	OA	3870	1,100	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k1102	SOA	2060	300	200	350	1	750	750	750	1	
	OA	2060	850	200	700	1	—	—	—	0	
ACU-k1103	SOA	5010	350	200	400	1	950	800	800	1	
	OA	5010	1,200	200	850	1	—	—	—	0	
ACU-k1201	SOA	18830	450	200	700	1	1,400	1,000	900	1	
	OA	18830	1,950	200	1,400	1	—	—	—	0	
ACU-k1301	SOA	13820	450	200	700	1	1,400	1,000	900	1	
	OA	13820	1,950	200	1,200	1	—	—	—	0	

よろしい。

空 気 調 和 設 備
図

D-118
D-135
D-140

1・2 階図書館系統（空調機 ACU-k 103、FE-k 103-1）のダクトがエアーフロー図、系統図及び平面図で相違します。エアーフロー図を正と考えて宜しいでしょうか。

空気調和設備 図	D-111~113	CAV について、設定できる風量が 70m ³ /h となりますが、それより少なく設定されているものがあります。 全て最小風量は、70m ³ /h として宜しいでしょうか。	CAV-k 501-6,7、CAV-k 1001-5,6 は 70 m ³ /h とする。 CAV-k 1001-7,8 は 120 m ³ /h （各 1 台）とする。
GEN 総合図	GEN-025	計測器の圧力計について ① サプライダクトの圧力計は、差圧計と考えて宜しいでしょうか。 ② サプライダクトに取り付ける圧力計は、空調機のみと考えて宜しいでしょうか。	① 微差圧計とする。 ② よろしい。
GEN 総合図	GEN024	給排水衛生設備特記仕様書の機器仕様ではポンプ類はメーカー標準仕様と明記されております。機械設備の他の機器類もメーカー標準仕様として宜しいでしょうか。	給排水衛生設備、空気調和設備の機器についてはメーカー標準仕様とする。
GEN 総合図	GEN-025	屋外露出ダクトの材質について、一般排気は溶融アルミニウムメッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)と記載されていますが、その他のダクト・チャンバーについては記載がありません。保温を施さない屋外露出一般ダクトについては全てガルバリウム鋼板と考えて宜しいでしょうか。	一般排気以外は各排気ごとに屋内と同様の材質とし、内面塩ビコーティング鋼板は内外面塩ビコーティングとする。

GEN 総合図	GEN-25	「エチレンオキサイト排気はVPとする。」と記載されていますが、該当ダクトがわかりません。ご指示頂けますでしょうか。	該当箇所無しとします。
GEN 総合図	GEN-24 GEN-25	機械室の保温仕上げは、特記仕様書通りステンレス鋼板で宜しいでしょうか。	よろしい。
GEN 総合図	GEN-24 GEN-25	配管・ダクトの貫通部等に鉛巻き又は、遮音シート巻きは不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、仕様及び範囲を御指示頂けますでしょうか。	コンプレッサー室への貫通部は遮音シート巻き（0.5 t 2重巻き、貫通部前後 500mm、壁面接触部 50mm巻き上げ）とする。
GEN 総合図	GEN-25	ダンパー仕様で外部気密等必要な系統は、無いと考えて宜しいでしょうか。	高速型については高气密性とする。
GEN 総合図	GEN-023	総合調整の温度に室内と共に壁・床・天井とあります。これは室内温度測定と共に各室内の壁・床・天井の表面温度を測定するのでしょうか。具体的な測定箇所数や測定方法等をご指示下さい。	壁・床・天井については、不要です。
	GEN-025	機器設備の機器見掛け部の指定色塗装は、メーカー標準色と考えて宜しいでしょうか。メーカー標準色以外の場合、対象機器をご指示ください。	よろしい。

	GEN-025	その他共通にて、各室内機に C トラップ取付とあります。各室内機にはドレンアップが付属されている為、不要と考えて宜しいでしょうか。	必要とします。
	GEN-025	冷媒配管は断熱材被覆銅管となっておりますが、保温厚は液管 10mm、ガス管 20mm と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
GEN 総合図	GEN-025	換気設備の材料で多湿・酸触のおそれがあるダクトは内面塩ビコーティング、ダクト底部シールとあります。空調ダクト材料で酸排気の塩ビコーティング鋼板は内面塩ビコーティングと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
GEN 総合図	GEN-025	換気設備の材料で実験排気のダクトにはシールを施すとあります。実験排気のシールは N シール+A シールで、その他多湿及び酸接触等のおそれがある排気ダクトは底部のシールだけと考えて宜しいでしょうか。	実験排気と同様としてください。
GEN 総合図	GEN-025,D001	計測器で冷温水ポンプ、冷却水ポンプ、温水ポンプ、冷水ポンプの温度計(デジタル表示)と圧力計は集中設置とありますが、ヘッダーは記載されておりません。ヘッダーは、機器表の付属品数量分のみと考えて宜しいでしょうか。	ヘッダーも含んでください。

空 気 調 和 設 備 図	D126	既存棟の研り工事は 1 階空調配管平面図のみ 3 × 8 か所と明記されておりますが、それ以外の 箇所は明記されておりません。図面記載箇所の み研り工事は本工事とし、他の個所は研り工 事・レントゲン検査は建築工事、穴埋め工事のみ本 工事として宜しいでしょうか。	床及び RC 壁貫通部については、他の箇所についても研 り工事・レントゲン検査、穴埋めとも本工事（一括発注） とする。
空 気 調 和 設 備 図	D-001,022,028	増築棟中央熱源系統図及び R2 階空調配管平面 図で PCD-1 冷却水ポンプは CDR 冷却水還管 に設置されており、R-1 冷凍機は冷却水ポンプ 対して吸込み側となっております。CT-1 冷却 塔は開放型となっておりますので、PCD-1 冷却 水ポンプ 4 台は CDS 冷却水往管系統で冷凍機 に対して押込み側に設置すると考えて宜しい でしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-001,022,024,028, 040	増築棟中央熱源系統図及び 8 階空調配管平面図 で冷温水一次ポンプは PCH-1×2 台×2 組、ま た系統図及び 2 階空調配管平面図で冷水二次ポ ンプは PC-1×2 台、温水二次ポンプは PH-1× 2 台となっておりますが、機器表では PCH-1 冷 温水一次ポンプ×2 台、PCH-2 冷温水二次ポン プ×2 台（PCH-1,2 は同仕様・同能力）、PC-1 冷水二次ポンプ×2 台となっております。また	PCH-1 は 4 台→2 台（機器表を正）とし、R-1（吸収式） 1 基につき 1 台とする。また機器表 PCH-2 は PH-1 と 読み替え、PC-1 は PH-1 同等の仕様とする。

		機器表の PC-1 冷水二次ポンプは 32φ×170L/min ですが、2 階平面図では冷水・温水とも二次主管は 150A となっており、配管系統図からも二次冷水・温水量は一次冷水・温水量と同量と思われます。また自動制御計装図(1)熱源廻り制御では各冷凍機 R-1 の PCH-1 冷温水一次ポンプは 100%×2 台による切替え、PC-1 冷水二次ポンプ×2 と PH-1 温水二次ポンプ×2 は二次ポンプ台数制御を行うことから 50%×2 台と思われます。機器は機器表どおり、配管は平面図どおり、と考えて宜しいでしょうか。	
GEN 総合図	GEN-025 D-018	空調特記仕様書の換気設備に実験排気はダクトシールを施すこととありますが、熱などの酸・有機・洗浄室系統以外の実験排気も全てシールを施すと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-024	増築棟 1 階空調配管平面図でコンプレッサー室を貫通する冷媒配管は何も記載されておられません。貫通部の遮音処理は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は遮音処理の仕様をご指示ください。	遮音処理は必要です。 コンプレッサー室への貫通部は遮音シート巻き（0.5 t 2 重巻き、貫通部前後 500mm、壁面接触部 50mm 巻き上げ）とする。

空 気 調 和 設 備 図	D-024	増築棟1階空調配管平面図でコンプレッサー室のパッケージエアコン ACP-1-7R1×2 のドレン管は床貫通後 Y1 とおり近辺まで横引後、免震ピット内側溝へ立下げ放流と考えて宜しいでしょうか。	免震ピット内に立ち下げ、最寄釜場まで配管のこと。 (免震ピット内に側溝がないため) その他、増築棟ドレン配管についても同様とする。
空 気 調 和 設 備 図	D-024	増築棟2階空調配管平面図で電気室内設置のパッケージエアコン ACP-2-1R1×3 台の防液堤×3 個所は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-024,025	増築棟2,3階空調配管平面図中の3階渡り廊下平面図で建物 EXP.J 対応に配管にはフレキシブルジョイント FJ ではなく EXP.J が付いております。図面どおり EXP.J を取付けると考えて宜しいでしょうか。	免震継手とする。
総 合 特 記 仕 様 書(空気調和設備) 空 気 調 和 設 備 工事図	GEN-025 D-024～028	空調特記仕様書配管材料の弁類で冷温水、冷却水、給水の 50A 以下はボール弁となっておりますが、増築棟空調配管平面図では 50A 以下は GV となっております。平面図に記載のバルブを使用すると考えて宜しいでしょうか。	特記仕様どおりとする。
GEN 総合図	GEN-025	空調特記仕様書配管材料に防振吊支持は冷温水、冷水、温水管とありますが、R 階も含めて全館スプリング防振と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

		か。	
GEN 総合図	GEN-025	空調特記仕様書ダクト材料・仕様に防振吊支持は空調機より 5m 以内で長辺が 500mm 以上のダクトとありますが、換気設備のダクトに関しては記載されておりません。またその他共通に屋上のダクトはスプリング防振にて対応とあります。空調ダクトは空調機接続長辺 500mm 以上のダクト 5m 以内及び屋上ダクト全て、また換気ダクトは屋上設置ダクト全てを防振吊施工と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-024,041	増築棟 2 階空調配管平面図の空調機廻り要領図で加湿制御弁は電磁弁とありますが、自動制御計装図では電動 2 方ボール弁となっております。制御図どおり電動ボール弁と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-024 ～ 028,032 ～ 035	増築棟空調配管及びダクト平面図で配管・ダクトのファインフロア貫通穴明け工事区分は建築工事と考えて宜しいでしょうか。	本工事（一括発注、設備範疇）とする。
空 気 調 和 設 備 図	A-036 D-028	増築棟 8 階空調配管平面図の EV ホールエアコン ACP-A-1R15 から観測室への冷媒配管壁貫	左記壁は耐火壁ですが、防火区画ではございません。よって区画貫通処理は不要です。

		通部は防火区画となっております。区画貫通処理を行うと考えて宜しいでしょうか。	
空気調和設備図	D-027,028	増築棟 8,R2 階空調配管平面図で各種空調配管はファインフロア用建築鉄骨材に配管支持鋼材を取付けると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-027	増築棟 8階空調配管平面図で各空調機ドレン配管の床上・床下は空調機廻り床上はファインフロア床上、その下流の床下はファインフロア床下、最終放流管の床上は 8 階床上コロガシ配管と考えると宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-027,028	増築棟 8,R2 階空調配管平面図でファインフロアに設置する各種機器の据付基礎用 1 次鉄骨鋼材は、全て建築工事と考えると宜しいでしょうか。	よろしい（一括工事発注）。 機器接続までは設備工事範疇とする。
空気調和設備図	D-029,030	増築棟ダクト系統図で特記・凡例に破線-----は別途工事とありますが、EA 系統室内側の破線表記されているフレキシブルダクト・VD 止めは本工事と考えると宜しいでしょうか。	実験機器設備工事とする。 仕様は次のとおりとする。 本体：ポリプロピレン製ジョイント部とアルミニウム管（φ 75,100）またはポリプロピレン管（φ 75,100） 特長：ウォール・天井から選択が可能 （用途に応じてさまざまなフード形状の選択が可能） 設計風量：150CMH

空気調和設備 図	D-017,031	増築棟ダクト1階平面図でコンプレッサー室の排気はフードではなく、400×350 のダクト端部を 850×550 に拡大して SUS 金網取付けと考えるて宜しいでしょうか	よろしい。
空気調和設備 図	D-15,16	増築棟制気口リストの特記・凡例で HEPA フィルターにはスキャンテスト仕様は記載されておられません。メーカー標準仕様と考えるて宜しいでしょうか。	スキャンテスト品としてください。
空気調和設備 図	D-29～34	増築棟ダクト図で室内立下げダクトは天井下 300H にて VD、フレキ+VD 止めと考えるて宜しいでしょうか。	よろしい（実験機器搬入時の取り合い調整及び試運転調整は行うこと。）
空気調和設備 図	A-017 D-032	増築棟ダクト2階平面図で危険物貯蔵所2及び N2 消火ボンベ室、発電機室は防火区画となっております。危険物貯蔵所2の貫通ダクト EA150φ×1、EA175φ×1、EA275φ×1 に FD、PA150φ×1 の PD を PFD×1 に、N2 消火ボンベ室の貫通ダクト EA175φ×1、OA175φ×1、OA450×300×1、OA600×600×1、EA450×300×1 に FD を、発電機室系統貫通 OA450×300×1、EA450×300×2 の PD を PFD に変更、EA450×350×2 の FD を追加すると考えるて宜しいでしょうか。	よろしい。

空 気 調 和 設 備 図	D-029,032	増築棟ダクト3階平面図のトクホ微生物自然毒室等の別途工事 HEPA 接続ダクトは天井内でダクト止めの図となっておりますが、系統図では天井下でダクト止めとなっております。系統図どおり天井下でダクト止めと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
GEN 総合図	GEN-025	空調特記仕様書の空調及び換気設備で天井下に貫通する立下りダクトの貫通部シール工事に関しては記載されておりますが、シールを行うと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-033	増築棟ダクト4階平面図で X1 通り DS から建物に入る SOA 分岐ダクトのサイズが不明です。また DS と建物の壁は防火区画となっておりますので FD が必要と思われます。ご指示ください。	ダクトサイズは 1100×750 とする。 壁貫通部には FD を追加してください。
空 気 調 和 設 備 図	D-033	増築棟ダクト5階平面図で洗浄室は防火区画となっております。廊下へ出る SOA800×400×1、FE-501-2 系統 EA225φ×1 に FD を取付けると考えて宜しいでしょうか	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-033	増築棟ダクト5階平面図で洗浄室に SUS 排湿管 100φ×4 本があります。これは SUS 製シームレスダクトではなく、配管用ステンレス鋼管	よろしい。

		(溶接)と考えて宜しいでしょうか。	
空 気 調 和 設 備 図	D-36	増築棟ダクト R2 階平面図で酸排気ダクトは内面エポキシコーティングですが、屋外は内外面塩ビコーティングダクトと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-36	増築棟ダクト R2階平面図で排気ファン(スクラバーファンを除く)の吐出開放ダクトには系統図どおり VD を取付けると考えて宜しいでしょうか。また VD はダクト材と同じ鋼材とし、酸排気系の塩ビコーティングダクトには内外面エポキシコーティングと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-018- 021,029,030,032,036, 041,042	増築棟自動制御計装図(2),(3)の外調機制御フロー図には外気取入ダンパーME3D が付いて空調機停止時のインターロック制御を行っておりますが、エアフロー図、ダクト系統図及び各平面図にはすべての外調機 OA 取入ダクトに MD が記載されておられません。制御図どおり MD を取付けると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。

空 気 調 和 設 備 図	D-024,052	増築棟自動制御計装図(13)の 14.漏水監視でコンプレッサー室パッケージエアコン ACP 漏水監視は 1 セットとありますが、ACP は 2 台設置されております。漏水監視は 2 セットと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空 気 調 和 設 備 図	D-007,039,055,155,157	増築棟空調機器表でパッケージエアコンの集中管理コントローラ×2 台(親機:既存棟 2 階防災センター、子機:既存棟 3 階大安研事務室)がありますが、増築棟中央監視システム幹線系統図では既存棟入口で工事区分となっております。集中管理コントローラは既存棟工事に支給し、既存棟内での増築棟集中管理コントローラ×2 台取付、中央監視装置(増築棟監視ポイント及びグラフィック共)及び配管配線工事は全て既存棟工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	よろしい（一括工事発注。）。
空 気 調 和 設 備 図	D-017,032	増築棟空調設備 2 階ダクト平面図で空調機 ACU-103,104 の RA 排気ファン FE-103-1 系統ダクト 200φ×1 が EA ガラリチャンバーEAG-2-1 に接続されておりますが、空調 2 階ダクト平面図では排気ダクトが 2 本接続されており、ガラリチャンバーボックスリストでは仕切板は 1 枚となっております。仕切板を 2 枚にする	よろしい。

		と考えて宜しいでしょうか。	
空気調和設備 図	D-001,022	増築棟機器表に C-K1 空冷モジュールチラーの記載ありますが、系統図・平面図に記載ありません。増築棟工事では、機器表どおり、機器のみ本工事と考えて宜しいでしょうか。	よろしい（据え付け費用は必要。）。
空気調和設備 図	D-003,023,024	1 階 TOX 計等機器室 ACP-1-6R2 室内機は機器表では 2 台ですが、平面図は 1 台です。機器表どおり 2 台と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-004,027	4 階残留農薬試験室系統の室外機 ACP-4-1 の冷却能力は、機器表は 28.0kW と記載ありますが、室内機の合計冷却能力は 54.0kW です。ACP-4-1 は 28.0kW×2 台と考えて宜しいでしょうか。	冷却能力は 67.0kW とする。
空気調和設備 図	D-008,029,031	1 階 TOX 計等機器室の送風機 FE-101-15 はストレートシロッコファン（屋外床置）と記載ありますが、平面図は 1 階天井内かつ静圧 800Pa と高い為、シロッコファン（屋内天吊）と考えて宜しいでしょうか。	シロッコファンとし、屋上設置とする。
空気調和設備 図	D-010,030,036	4 階残留農薬試験室の送風機 FE-401-4,5 ですが、機器表はストレートシロッコファン（屋外	よろしい。

		床置)と記載ありますが、シロッコファン(屋外床置)と考えて宜しいでしょうか。	
空気調和設備 図	D-010,030,036	4 階動物用医薬品試験室の送風機 FE-401-10,11 ですが、機器表ではストレートシロッコファン(屋外床置)と記載ありますが、シロッコファン(屋外床置)と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-010,030,036	4 階食品添加物試験室の送風機 FE-401-15,18 ですが、機器表ではストレートシロッコファン(屋外床置)と記載ありますが、シロッコファン(屋外床置)と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-010,030,036	4 階前処理室・器材置場の送風機 FE-401-22 ですが、機器表ではストレートシロッコファン(屋外床置)と記載ありますが、シロッコファン(屋外床置)と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-010,030,036	5 階洗浄室の送風機 FE-501-4 はストレートシロッコファン(屋内天吊)と記載ありますが、風量 5540m ³ /h と大きい為、シロッコファン(屋内天吊)と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-011,030,033	5 階腸管系細菌分離室・腸管系検体処理室(BLS2)の送風機 FE-502-7 ですが、機器表で	よろしい。

		はストレートシロッコファン（屋外床置）と記載ありますが、シロッコファン（屋外床置）と考えて宜しいでしょうか。	
空気調和設備図	D-013,032	3 階器具容器包装室 定風量・変風量ユニットについて、機器表は VAV-303-8 と記載ありますが、平面図は CAV-303-8 です。機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-013,033	4 階食品添加物試験室 定風量・変風量ユニットについて、機器表は VAV-401-15,16 と記載ありますが、平面図は CAV-401-15,16 です。機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-013,034	6 階核酸処理室・電気泳動室 定風量・変風量ユニットについて、機器表は VAV-602-1 と記載ありますが、平面図は CAV-601-1 です。機器表を正と考えて宜しいでしょうか。	平面図を正とする。
空気調和設備図	D-013,036	8 階観測室 定風量・変風量ユニットについて、機器表は VAV-801-2 と記載ありますが、平面図に記載ありません。機器表どおり有るものと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備図	D-032,033	3 階器具容器包装室、5 階洗浄室内の立上りダクトに変風量ユニットの図示がありますが、機器表に記載ありません。機器表どおり不要と考	3 階器具容器包装室内 FE-303-8 系統に付属している VAV は不要とする。ただし、FE-303-11 系統の立上がりダクトに付属している VAV-303-9 は機器表どおりと

		えて宜しいでしょうか。	する。 5階洗浄室立上がりダクトに記載のVAVは不要とする。
空気調和設備 図	D-017	湿式排ガス処理装置 FE-302,303,502~504,601 用 排 気 フ ァ ン FE-303-14,16,502-8,503- 1,5,602-10, 及びFE-101-9 ケミカルファンは、全て FRP 製 と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-013,014,043	VAVCAV 機器表では、高速 VAV は合計 50 台 ですが、自動制御図では合計 63 台あります。 制御図を正と考えて宜しいでしょうか。	VAV-301-3、VAV-401-1、VAV-401-6、VAV-401-13、 VAV-401-21,VAV-602-12 は高速 VAV（高気密性）とす る。その他、メーカーにより必要であれば風量により台 数を増やしても良いものとする。
空気調和設備 図	D-008 ～ 012,031 ～ 036	FE-502-2-4 及び 601-3 は、機器表では屋外床 置型ですが、平面図では屋内天吊型です。機器 表どおりと考えて宜しいでしょうか。	屋上設置とします。
空気調和設備 図	D-008～012	送風機機器表では、耐熱／耐湿／防爆型のファ ンに、消音ボックス付ける仕様になっています が、消音ボックスは付けられません。消音ボック スは無しと考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
空気調和設備 図	D-038,055	ゴミ庫の機器表の有圧扇に、制御が有りとあり ますが、自動制御図にはありません。不要と考 えて宜しいでしょうか。	一括発注（電気設備工事範疇にてスイッチによる制御） とします。

特殊空調設備 工事図	F-002,003,016	増築棟特殊空調設備 7 階ダクト平面図で抗酸菌用安全実験室前室、動物舎感染実験室 BSL3 及び前室 1,2 には電気ヒータが記載されておられません。また BSL3,BSL2 フロー図にある各系統の電気ヒータ×7 台は機器リストには記載されておられません。各電気ヒータの仕様をご指示ください。	抗酸菌用安全実験室前室、動物舎感染実験室 BSL3 及び前室 1,2 の電気ヒータは設置すること。電気ヒーター容量は、各々、抗酸菌用安全実験室(BSL3)：12kW、抗酸菌用安全実験室(BSL3)前室：1kW、動物舎感染実験室 BSL3:6kW、動物舎感染実験室 BSL3 前室 1,2:各 2kW、ウィルス用安全実験室 BSL3：8kW、ウィルス用安全実験室 BSL3 前室：2kW
特殊空調設備 工事図	F-002,003,018	増築棟特殊空調設備 BSL3,BSL2 フロー図及び R2 階ダクト平面図で動物舎感染実験室排気系統×4 には活性炭フィルターユニットが各 1 台設置されておりますが、機器リストには記載されておられません。仕様をご指示ください。	排気ファンの風量に見合う活性炭フィルターユニットを設置すること。
特殊空調設備 工事図	F-004,009,015	増築棟特殊空調設備天秤室フロー図で ACU-103 近辺に蒸気発生器を設置し、ACU-103 の SA ダクト内に加湿装置を取付けておりますが、2 階配管平面図及びダクト平面図では不明です。また機器リストにも記載されておられません。平面図を正とし、蒸気発生器及びダクト取付加湿チャンバー、蒸気発生器等への給排水管は不要と考えて宜しいでしょうか。	フロー図に記載の加湿装置は、F-002 増築棟機器リストの ACU-103 の仕様に記載されている、電熱式加湿器の事です。電熱式加湿器に必要な配管類は必要です。

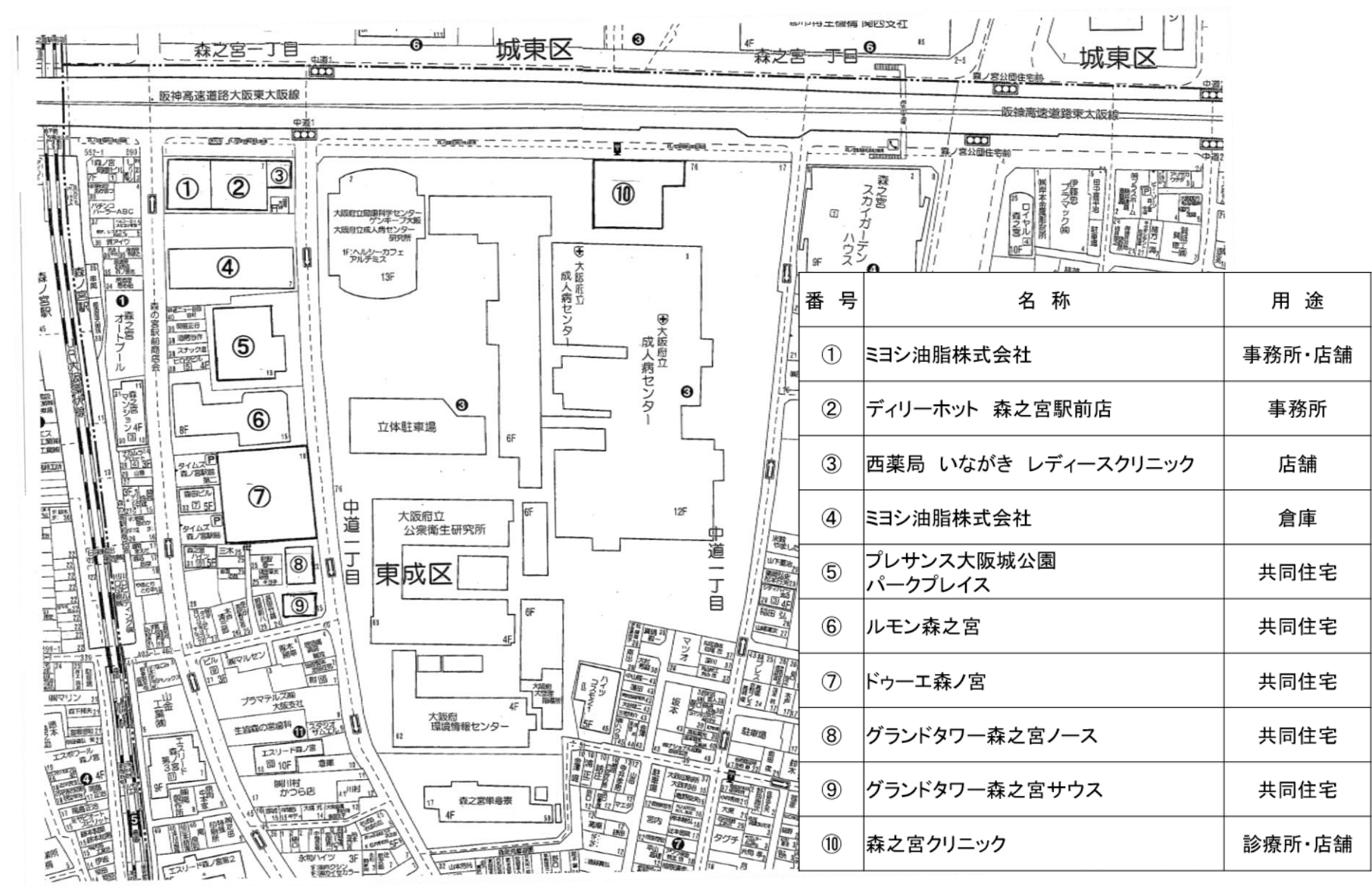
特殊空調設備 工事図	F-009	増築棟特殊空調設備 2 階配管平面図で空調機 ACU-103,104 のドレン排水管は破線表記の為、空調設備工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	空調工事範囲と考えて下さい。
特殊空調設備 工事図	F-002,004,015	増築棟特殊空調設備天秤室フロー図及び2階ダクト平面図で空調機 ACU-104 の SA ダクトに電気ヒータ×1 台が設置されておりますが、機器リストでは記載されておられません。仕様をご指示ください。	電気ヒーター容量 2kW とする。
特殊空調設備 工事図	F-004,014	増築棟特殊空調設備天秤室フロー図で天秤室 1,2 から各前室への RD 差圧ダンパーが各 1 個付いておりますが、2 階ダクト平面図では制気口リストにも記載されておられません。平面図を正とし、不要と考えて宜しいでしょうか。	差圧ダンパーを各 1 個設置すること。
特殊空調設備 工事図	F-002,004 008,030,031	増築棟特殊空調設備低温室フロー図で 4～7 階低温室と建築構造体の間にエアカーテンが設置されており、低温室動力盤表及び制御盤図にも記載されておりますが、各階低温室配管平面図及び機器リストには記載されておられません。エアカーテンの有無及び設置する場合の仕様・台数等をご指示ください。	エアカーテンの設置必要です。 4 階低温室：2 台、5 階低温室：4 台、6 階低温室：4 台、 7 階低温室：4 台

特殊空調設備 工事図	F-009,011 D-022,024,027	増築棟特殊空調設備配管 2 階及び 8 階平面図で冷水・温水配管主管のバルブ以降供給側配管は空調工事となっておりますが、増築棟中央熱源系統図(空調配管)及び 2 階・8 階配管平面図では特殊空調系統空調機 ACU-103,104,705,706,707 に各配管は接続されて記載されております。空気調和設備工事と特殊空調設備工事の配管工事区分をご指示ください。	本工事（一括発注、冷水・温水配管主管のバルブ以降供給側配管は特殊空調工事範疇）とする。
空気調和設備 工事図	GEN-013,023,025	増築棟特殊空調設備工事における各種工法・材料等は図示以外全て共通及び空気調和設備特記仕様書に準じると考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
特殊空調設備 工事図	GEN-025 F-003,004,014～018	増築棟特殊空調設備工事におけるダクトの材質は全て亜鉛鍍鉄板と考えて宜しいでしょうか。	よろしい。
特殊空調設備 工事図	F-038 D-057,060	増築棟特殊空調設備工事において各空調機(制御機器・弁共)、パッケージエアコン、低温室冷凍機、電気ヒータ、MD、室圧、排気ファン等の自動制御計装図が添付されておきませんが、全て特殊空調工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	本工事（一括発注、全て特殊空調工事範疇）とする。

特殊空調設備 工事図	F-038 D-039	増築棟特殊空調設備中央監視ポイントリストに状態、故障・警報、計測監視(機器発停は無し)がありますが、増築棟空気調和自動制御設備と同様に既存棟入口までの中央監視配管配線は特殊空調設備範囲で、中央監視装置までの既存棟内配管配線工事及び監視ポイント・グラフィック等工事は既存棟工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	本工事（制御盤内の端子までは、特殊空調工事範疇。端子以降から既存棟入り口までの中央監視配線は空気調和自動制御設備範疇）とする。
特殊空調設備 工事図	F-003,010,013	増築棟特殊空調設備 高圧蒸気滅菌装置配管平面図に衛生蒸気配管との取合がありますが、取合点以降滅菌装置も含めてどこの何に接続するのか不明です。図示にある蒸気配管工事だけを行えば宜しいのでしょうか。ご指示ください。	よろしい。

その他

補足説明書 19（１）に記載の別紙については、次のとおりである。



屋内貯蔵所危険物(第四類)保管リスト

品名(性質) 指定数量	物質	品名(性質) 指定数量	物質	品名(性質) 指定数量	物質
特殊引火物 指定数量50L	ジエチルエーテル	第二石油類 (非水溶性液体) 指定数量1000L	キシレン	第三石油類 (非水溶性液体) 指定数量2000L	安息香酸エチル
	アセトアルデヒド		マリノール		アニリン
	酸化プロピレン		酢酸イソアミル		フタル酸ジエチル
	ペンタン		QY-1 (n-ブチルグリシジルエーテル)		ベンジルアルコール
	4-メトキシ-2-ペンタノン		o-Xylene		DDSA(硬化剤)
第一石油類 (非水溶性液体) 指定数量200L	トルエン		1-ブタノール		MNA(硬化剤)
	トルエン(超脱水)		アセチルアセトン		DMP-30
	ヘキサン		クロロベンゼン		流動パラフィン
	メチルエチルケトン		イソアミルアルコール		3-メトキシプロピオン酸
	酢酸エチル		1-プロモヘキサン		イソオイゲノール
	石油エーテル		2,3-ジプロモチオフェン		1-プロモ-2,5-ジメキシベンゼン
	シクロヘキサン		シクロペンタンカルボニル=クロリド		レジン
	トリエチルアミン		アセチルアセトン		プリスタン
	t-Butyl methyl ether(MTBE)		クロロアセトニトリル		o-アミノアセトフェノン
	メチルイソブチルケトン		1,1,1-トリクロロアセトン		N,N-ジメチルアニリン
	塩化アセチル		1,1,3-トリクロロアセトン		N,N-ジメチル-n-ドデシルアミン
	n-ヘプタン		アクリル酸-n-ブチル		メタクリル酸
	ジクロロメタン		シクロヘキサン		1,2,3-トリクロロプロパン
	ベンゼン		ジクロロアセトン		2,4,6-トリフェニル-1-ヘキセン
	1,2-ジクロロエタン		ブロマール		2,4-ジフェニル-1-ブテン
	無水酢酸		1-プロモプロパン		3-クロロ-1,2-プロパンジオール
	ネオプレン(トルエン)		ベンズアルデヒド		アクリル酸-2-エチルヘキシル,モノマー
	フォルムバール溶液 0.5%		1-オクタナール		アセトフェノン
	石油ベンジン		1-ヘキサナール		クロロアセトン
	ベンゼン(クロマトグラフ用)		n-ヘプタルデヒド		三酢酸グリセロール(トリアセチン)
	Trans-1,3-dimethylcyclohexane		デカメチルテトラシロキサン		フタル酸ジ-n-プロピル
	トリエチルアミン		オクタメチルトリシロキサン		フタル酸ジメチル
	N,N-ジエチルメチルアミン		オクタメチルシクロテトラシロキサン		1-クロロデカン
	プロモアセトン		デカメチルシクロペンタシロキサン		ノナナール
	アクリル酸-tert-ブチル		ノナン(和光特級)		1-デカナール
	アクリル酸エチル		チオフェンカルボニトリル		1-ウンデカナール
	アクリル酸メチル	第二石油類 (水溶性液体) 指定数量2000L	コウジン流エキス		1-ドデカナール
	2-プロモプロパン		N,N-ジメチルホルムアミド		サリチルアルデヒド
	プロピオンアルデヒド		ギ酸		しゅう酸ジエチル
	n-吉草酸アルデヒド		酢酸		1-プロモ-5-クロロペンタン
	イソ吉草酸アルデヒド		氷酢酸		(2-プロモエチル)ベンゼン
	n-ブチルアルデヒド		1-メチルピベラジン		1-(2-チエニル)-1-プロパノン
	イソブチルアルデヒド		ホルマリン		1-ナフトイル=クロリド
	アクロレインモノマー		2-ジメチルアミノエタノール		2,6-ジイソプロピルアニリン, tech. 90%
	アクリロニトリル		1,1,3,3-テトラメチルグアニジン		2-Furoyl Chloride
	メチルエチルケトン		1-メチルピベラジン		2-エチルベンゾニトリル
	tert-ブチルエチルエーテル		N,N-ジメチルアセトアミド		2-フルオロプロピオフェノン
	ヘキサメチルジシロキサン		N,N-ジメチルホルムアミド		2-メキシベンゾニトリル
	N,N,N,N-テトラメチルエチレンジアミン		N,N-ジエチルエタノールアミン		3-エチルベンゾニトリル
	塩化イソブチリル		アクリル酸		m-トルニトリル
	酢酸ブチル		N,N-ジメチルホルムアミド		m-メトキシベンゾニトリル
第一石油類 (水溶性液体) 指定数量400L	ピリジン	第三石油類 (水溶性液体) 指定数量4000L	エチレンジアミン	第四石油類 指定数量6000L	o-トルニトリル
	アセトニトリル		2-メルカプトエタノール		o-フルオロベンジルプロミド
	アセトン		プロピレングリコール		p-エチルベンゾニトリル
	アセトン(超脱水)		ジエチレングリコール		p-フルオロアニリン
	テトラヒドロフラン		エチレングリコール		p-フルオロフェニルアセトニトリル
	テトラヒドロフラン(HPLC用)		ポリエチレングリコール200		p-フルオロプロピオフェノン
	N,N,N',N'-テトラメチルエチレンジアミン		Dipropylene glycol		ニトロベンゼン
	ジメチルアミン溶液(約50%)		グリセリン(グリセロール)		バレロフェノン
	テトラヒドロフラン(超脱水)		トリエタノールアミン		ブチロフェノン
	2,3-Butanedione		(R)-(+)-テトラヒドロ-2-フランカルボン酸		ヘプタノフェノン
アルコール類 指定数量400L	メタノール		(S)-(-)-テトラヒドロ-2-フランカルボン酸		ベンジル=プロミド
	1-プロパノール		2-n-ブチルチオフェン		ベンゾニトリル
	2-プロパノール(イソプロピルアルコール)		ホルムアミド		安息香酸エチル
	エタノール(消毒用エタノールを含む)		ヒドラジーン水和物		安息香酸ブチル
	イソプロパノール消毒液		サリチルアルデヒド		安息香酸ヘキシル
	ギムザ染色液		テトラエチレングリコール		安息香酸メチル
	ヨードチンキ		3,6-ジオキサ-1,8-オクタンジオール		t-ブチルジフェニルクロロシラン
	NN-溶液		ポリエチレニミン		真空ポンプオイル
	0.5mol/L メタノール性塩酸		ジメチルスルホキシド(DMSO)		Quetol(エポキシ樹脂)-812
					ポリエチレングリコール300
					ポリエチレングリコール400
					シリコンオイル

質問項目	質問内容	回答内容
入札説明書 2 入札参加資格 4 頁	(16) ア、イ、ウ、エ の工事实績ですが、単一工事ではなく複数の工事にてア、イ、ウ、エの各要件をそれぞれ満足させればよろしいでしょうか。ご指示下さい。	・すべて別の契約の実績でも可とします。
入札説明書 2 入札参加資格 4 頁	(16) 単体企業で申請を行う場合、共同企業体の工事实績は使用可能でしょうか。また、共同企業体の出資比率が20%以上、工事实績(延べ面積)=共同企業体としての工事实績(延べ面積)×共同企業体での出資比率×2.0により算出(小数点以下切捨て、共同企業体としての工事实績の100%を上限とする)すると考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	・いずれも可能です。
入札説明書 2 入札参加資格 4 頁	(16) エ 工事实績ですが、延べ面積 8,000m ² 以上の研究所、延べ面積 8,000m ² 以上の大学、延べ面積 8,000m ² 以上の病院、延べ面積 8,000m ² 以上のその他動物実験室(アイソレーターを有するものに限る)、延べ面積 8,000m ² 以上の病原体を取扱う研究所、延べ面積 8,000m ² 以上の病原体を取扱う実験室を有する建築一式工事のいずれかを満足させるものと考えてよろしいでしょうか。ご指示下さい。	・「動物実験室(アイソレーターを有するものに限る)」又は「病原体等を取扱う研究室若しくは実験室」を有する延べ面積 8,000m ² 以上の研究所、大学、病院、その他の建築物を新築した建築一式工事の実績を求めています。

一般競争入札（事前審査・価格競争方式）入札説明書 2、Ⅱ、（2） 4 ページ	Ⅱ．特定建設工事共同企業体（以下「特定 JV」という。）の場合について、（2） 構成員の経営事項審査の総合評定値は、建築一式にあつては 1,100 点以上、電気にあつては 1,050 点以上、又は管にあつては 1,000 点以上であること。とありますが、代表者以外の構成員が、建築、電気、管の評定値を、全てを取得していなければいけないのでしょうか。	・構成員（代表者含む）がそれぞれで全ての業種の総合評定値を取得している必要はありません。次の例を参考にしてください。 特定 JV(A 社が代表)の例) <table><tr><th rowspan="2">例 1</th><th colspan="3">総合評定値</th></tr><tr><th>A</th><th>E</th><th>M</th></tr><tr><td>A 社</td><td>1,200</td><td>900</td><td>900</td></tr><tr><td>B 社</td><td>1,100</td><td>900</td><td>900</td></tr><tr><td>C 社</td><td>1,000</td><td>1,050</td><td>900</td></tr><tr><td>D 社</td><td>1,000</td><td>900</td><td>1,100</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2">例 2</th><th colspan="3">総合評定値</th></tr><tr><th>A</th><th>E</th><th>M</th></tr><tr><td>A 社</td><td>1,200</td><td>1,000</td><td>1,100</td></tr><tr><td>B 社</td><td>1,000</td><td>1,050</td><td>900</td></tr><tr><td>C 社</td><td>900</td><td>900</td><td>1,000</td></tr></table> ※ 黄色マーカー部分は構成員の確認対象（最低値を示す）、朱書部分は特定 JV としての確認対象（最低値を示す）。	例 1	総合評定値			A	E	M	A 社	1,200	900	900	B 社	1,100	900	900	C 社	1,000	1,050	900	D 社	1,000	900	1,100	例 2	総合評定値			A	E	M	A 社	1,200	1,000	1,100	B 社	1,000	1,050	900	C 社	900	900	1,000
例 1	総合評定値																																											
	A	E	M																																									
A 社	1,200	900	900																																									
B 社	1,100	900	900																																									
C 社	1,000	1,050	900																																									
D 社	1,000	900	1,100																																									
例 2	総合評定値																																											
	A	E	M																																									
A 社	1,200	1,000	1,100																																									
B 社	1,000	1,050	900																																									
C 社	900	900	1,000																																									
一般競争入札（事前審査・価格競争方式）入札説明書 2、Ⅰ、（17） 4 ページ	（17） 業種が建築一式工事に係る建設業法第 26 条第 2 項に規定する監理技術者を専任として配置できること。ただし、開札の日までにおいて 3 ヶ月以上の雇用関係が確認でき、契約工期の初日において他の工事に従事していないことが確認できる者に限る。とありますが、監理技術者の配置技術者は 1 名ですが、候補者を複数名申請させて頂いてよろしいでしょうか。	・複数名の申請でも可とします。																																										

入札公告 P.5 3 (3) 入札参加資格申請書類の提出	入札参加資格申請書類の提出部数の記載がありませんのでご指示ください。また、綴込み方法に指定がありましたら、ご指示ください。	・一部提出してください。 ・綴込み方法の指定はありません。
入札公告 P.5 3 (3) 入札参加資格申請書類の提出	入札参加資格申請について、必須の提出書類は、様式 2、様式 3、様式 4-1、様式 4-2、様式 5、様式 6、様式 8、様式 14 とそれぞれに要求されている添付書類と考えてよろしいでしょうか。	・単体企業の場合、お見込みの通りです。 ・なお、様式 7 は提出日において配置技術者が他の工事に従事している場合、提出してください。
入札公告 P.5 3 (3) 入札参加資格申請書類の提出	入札参加資格申請について、必要に応じて提出する書類は、様式 7、様式 9-1、様式 9-2、様式 10-2 と考えてよろしいでしょうか。	・お見込みの通りです。
入札説明書 2 入札参加資格 6 頁	(3) ウ 配置予定技術者ですが複数名あげて申請を行うことは可能でしょうか。ご指示下さい。	・可能です。
入札説明書 3 資料の交付・質問回答 7 頁	(4) イ 設計図書等配布ですが、設計図書等の受領が令和 2 年 3 月 2 日の場合、受領後から入札執行日時まで開庁日で 20 日となっており見積日程が非常に厳しいと考えます。入札参加資格審査申請書の提出後、令和 2 年 2 月 15 日頃に設計図書等の配布を頂くことは可能でしょうか。ご指示下さい。	・設計図書等は、入札参加資格を確認でき次第、令和 2 年 3 月 2 日までに全入札参加資格者に同時に発送します。
入札説明書 3 資料の交付・質問回答 7 頁	(4) イ 設計図書等配布ですが、参考数量書は含まれるのでしょうか。ご指示下さい。	・含みません。
公告 5 その他 7 頁	(4) 予定価格の公表時期ですが、事前公表・事後公表のどちらでしょうか。ご指示下さい。	・事後公表です。

公告 5 その他 7 頁	(4) 最低制限価格の算出方法、設定基準についてご指示下さい。	・最低制限価格は、予定価格の 75%から 92%の範囲で定めます。
申請書類 様式 4－1	本調書に記載する物件の契約書の写しあるいは共同企業体協定書の写しは、CORINS 登録物件の場合は、上記写しに替えて CORINS の写しを添付してよろしいでしょうか。	・契約書の写しに代えて CORINS の写しでも可とします。 ・また、CORINS の写しに共同企業体の貴社の出資比率の記載があるものであれば、共同企業体協定書の写しに代えて CORINS の写しでも可とします。
様式 4－1 工事实績調書	⑤「本調書に記載する物件の契約書の写し、及び図面の写しを提出すること。」となっておりますが、竣工登録のコリンズがある場合でしたら、コリンズの資料のみを添付する事でよろしいでしょうか。	
申請書類 様式 4－1	本調書に記載する物件の図面の写しは、秘密保持の観点から、公告記載のそれぞれの実績要件(2. I (16)の各号)が確認できる部分のみの必要最小限の図面を添付すると考えてよろしいでしょうか。	・お見込みの通りです。
申請書類 様式 4－1	本調書に記載する物件は 1 契約による実績とするとありますが、同一物件が 2 つに分かれて契約した場合(躯体と仕上が別契約など)は実績として可と考えてよろしいでしょうか。	・同一物件(建築物)であれば、原則、可とします。
申請書類 様式 4－1	上記の場合、同一物件が 2 つに分かれて契約した場合に、様式 4-1 に実績調書に記載するのはそのうちの 1 つの契約と考えてよろしいでしょうか。	・1 契約とみなして、併記してください。
様式 4－1 工事实績調書	「施設名称」を記載する箇所がございますが、不明の場合は「不明」と記載させて頂いてよろしいでしょうか。	・施設名称不明の場合は、工事名称を記入してください。

申請書類 様式 4－2	工事入札参加資格審査用証明書(実績)に記名捺印いただく方は、法人の代表者ではなく、施設管理の担当者であり、印鑑は施設管理の担当者のものと考えてよろしいでしょうか。	・お見込みの通りです。
様式 4－2 工事入札参加資格審査用 証明書(実績)	この様式に押印を頂く方は、当該施設をお引渡しをした相手(お客様)と言う事でよろしいでしょうか。又、「施工名称」は該当施設を施工した工事名称でよろしいでしょうか。	・お見込みの通りです。
入札説明書 3 資料の交付・質問回答 6 頁	(様式 4－2) ☐ 動物実験室(アイソレーターを有するものに限る) ☐ 病原菌等を取り扱う研究所又は実験室 上記を含まない病院・研究所・大学は実績と認められないのでしょうか。ご指示下さい。	・認められません。
申請書類 様式 10－2	工事入札参加資格審査用証明書(実績)の提出期限延長申出書は、参加資格申請時に提出する様式 4－2 に捺印いただくのに時間がかかる場合等において、必要な場合に提出するものと考えてよろしいでしょうか。また、参加資格申請時に提出する書面とした場合には「令和 2 年 2 月〇日付で通知があった結果について、」の文言は削除してよろしいでしょうか。	・お見込みの通りです。 ・捺印いただくのに時間を要する場合、施設管理担当者等氏名の欄を空白にして、様式 4－2 を提出してください。その後、必要に応じ、様式 10－2 を提出してください。
	貴研究所の建設工事請負契約書(案)を配布頂くことは可能でしょうか。ご指示下さい。	・設計図書等配付時に契約書案を配付します。
	履行期間が長期にわたるため、全体スライド・単品スライド・インフレスライドの各スライド条項についてご指示下さい。	・設計図書等配付時配付する契約書案をご覧ください。